

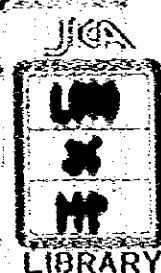
9972

NO. 10

昭和53年度海外開発計画調査委託事業の実績報告書

昭和 54 年 4 月

国際協力事業団
鉱工業計画調査部



鉱	計
S	C
79 - 112	

国際協力事業団	
受入 月日	84.82314 L000
登録No.	14565 936 MP



1033608(9)

(1) 昭和53年度海外開発計画調査プロジェクト別計画承認及び支出実績一覧表

行	No	国名	プロジェクト名	承認金額	承認年月日	承認番号	業務完了期限	支出金額	返納額	申請No.	目次
技	1	タイ	タイ王国冷間圧延工場建設計画事前調査	904,718	53.10.17	53通第1773号	53.12.31	743,813	16,405	28	15
"	2	タイ	タイ王国メー肥料工場建設計画調査	4,874,556	53.6.21	53通第1252号	54.3.31	47,714,791	1,027,555	5	19
"	3	タイ	タイ王国一貫製鉄所建設計画調査	35,258,078 (54.212.441)	54.3.12 (54.2.12)	54通第273号 (54通第1358号)	54.3.31	44,616,225	641,853	51	23
"	4	タイ	タイ王国クワイマイ河上流水力発電用設計調査	2,552,074	54.2.21	54通第202号	54.3.31	8,829,400	722,174	55	28
"	5	タイ	タイ王国ソーダ灰工場新設計画事前調査	6,400,084	54.3.11	54通第265号	54.3.31	6,324,302	75,782	61	32
"	6	フィリピン	フィリピン共和国バギオ地区鉄路公害防止計画調査	6,254,508	53.5.18	53通第1113号	53.8.31	6,004,869	249,639	1	36
技	7	フィリピン	フィリピン鉄工業プロジェクト調査承認調査	627,280	53.6.7	53通第1212号	53.7.30	448,503	178,785	17	40
"	8	フィリピン	フィリピン共和国マリナバタプロジェクト事前調査	2,671,241	53.8.31 (53.6.26)	53通第1526号 (53通第1282号)	53.8.31	2,563,487	107,754	21	44
"	9	フィリピン	フィリピン共和国マリナバタプロジェクト建設計画調査	66,585,299	53.10.9	53通第1742号	54.3.31	65,674,216	891,083	30	48
"	10	フィリピン	フィリピン共和国一貫製鉄所建設計画調査	72,044,277 (57.414.215)	54.3.12 (54.1.30)	54通第274号 (54通第52号)	54.3.31	76,746,821	298,456	43	52
"	11	フィリピン	フィリピン共和国アヌ川水力発電用設計調査	27,142,880	54.2.3	54通第116号	54.3.31	26,598,569	544,311	45	57
"	12	インドネシア	インドネシア共和国アタ・シリハ炭火力発電所建設計画調査	2,589,000	53.6.21	53通第1252号	54.8.31	2,518,791	60,209	4	62
"	13	インドネシア	インドネシア共和国アチスル肥料工場新設計画調査	42,644,624	53.6.21	53通第1252号	53.12.31	42,752,818	891,806	3	64
技	14	インドネシア	インドネシア共和国オンビリン炭田開発計画調査	171,880,936	53.10.3	53通第1574号	54.3.31	111,085,393	10,795,543	2	68
"	15	インドネシア	インドネシア共和国エネルギー供給デタ・パンツ計画調査	18,718,353	53.10.9	53通第1764号	54.3.31	17,494,211	1,224,142	31	72
"	16	インドネシア	インドネシア共和国石炭採掘生産デタ・パンツシステム計画調査	36,665,076	53.11.16	53通第2271号	54.3.31	35,972,230	692,846	36	76
"	17	インドネシア	インドネシア共和国マツン水力発電用設計調査	39,426,511	54.1.17	54通第50号	54.3.31	36,901,722	2,524,789	44	80
"	18	インドネシア	インドネシア共和国バラン工場新設計画事前調査	11,149,559	54.3.6	54通第237号	54.3.31	10,292,096	857,463	55	84
技	19	インドネシア・マレーシア	インドネシア・マレーシア鉄工業プロジェクト建設計画調査	1,005,059	53.6.7	53通第1212号	53.10.31	1,182,318	173,570	20	88
"	20	マレーシア	マレーシア共和国レビル川水力発電用設計画事前調査	2,238,855	53.11.30	53通第2273号	54.1.20	2,104,548	134,307	41	92
"	21	マレーシア	マレーシア共和国レビル水力発電用設計画調査	12,304,276	54.3.5	54通第235号	54.3.31	11,479,951	824,325	59	96
"	22	大韓民国	大韓民国水資源総合開発計画調査	5,624,663	53.1.21	53通第1252号	53.8.31	5,576,663	114,400	6	100

分野	№	地域	プロジェクト名	承認金額	承認年月日	承認番号	契約完了期限	支払金額	返納額	申請 No	回次
国際協力	23		大韓民国水資源総合開発計画調査(第2次)	112,474,792	53. 6. 20	53通外1120号	54. 3. 31	111,400,129	1,068,660	22	103
アジア	24		ザイェトナム社会主義共和国技術協力調査	1,498,625	53.10.18	53通外2113号	53.11.30	641,467	377,158	33	109
中南米	25		ビルマ連邦社会主義共和国パンゴンセツ工務局建築計画調査	28,500,700	53.11.24	53通外2255号	54. 3. 31	27,028,442	555,080	40	112
アフリカ	26		バングラディッシュ人民共和国自衛隊修理工場建設計画調査	82,903,677	53. 6. 21	53通外1252号	53.12.31	82,732,157	171,320	7	116
長年継続	27		バングラディッシュ人民共和国加チア・ヒョソ工場修復・増設計画調査 (19. 893,005)	22,586,544	54. 3. 7 (54. 2. 1)	54通外251号 (54通外111号)	54. 3. 31	26,636,831	1,059,713	47	120
長年継続	28	アジア	バングラディッシュ人民共和国ベラマ・バリル送信機建設計画調査	28,088,000	54. 2. 6	54通外128号	54. 3. 31	26,709,171	2,359,129	48	124
長年継続	29		バングラディッシュ人民共和国トクバ工務局建築計画調査	8,122,700	54. 3. 7	54通外256号	54. 3. 31	7,144,406	1,283,529	56	130
国際協力	30		ネパール王国クリカニ第2発電所建設計画及びカトマンズ地区送電施設整備計画調査	54,905,101	53. 6. 21	53通外1252号	54. 1. 31	54,699,540	305,542	9	134
アジア	31	アジア	ネパール王国ウダイプー・ルセメント工場建設計画調査	11,107,406	53. 6. 21	53通外1252号	53. 9. 30	10,853,876	253,590	10	138
アジア	32		スリランカ共和国自由貿易港開発計画事前調査	753,147	53. 6. 21	53通外1252号	53. 8. 31	475,648	272,500	8	142
アジア	33		パキスタン国鉄共和国鉄工業プロジェクト選定確認調査	175,000	53. 8. 21	53通外1252号	53. 7. 31	67,000	113,000	11	144
アジア	34		パキスタン国鉄共和国ラフタ地区及びワラハカ地区電力施設計画事前調査	2,369,951	53.11.14	53通外2207号	53.12.27	4,600,485	672,486	37	146
アジア	35		イラン帝国石油化学工業製品計画調査	3,370,000	53. 6. 21	53通外1252号	53. 8. 31	2,403,705	964,295	12	150
アジア	36	中東	サウディ・アラビア王国石油化学工場建設計画調査	57,334,000	53. 6. 21	53通外1252号	53. 9. 30	56,217,076	1,117,005	13	152
大型プロジェクト	37		サウディ・アラビア王国海水淡水処理技術協力計画事前調査	2,059,700	54. 1. 27	54通外78号	54. 3. 31	8,779,000	272,409	42	154
アジア	38	近東	オマーン国工業開発計画調査	34,552,000	53.10.31 (53. 6. 21)	53通外2177号 (53通外1252号)	53.12.20	33,648,918	912,086	14	158
アジア	39		オマーン国製鋼所建設計画調査	17,266,944	54. 2. 28	54通外220号	54. 3. 31	16,094,775	1,172,168	57	162
アジア	40		オマーン国鉄物資運用計画調査	2,162,192	54. 3. 10	54通外280号	54. 3. 31	8,354,201	807,991	63	166
長年継続	41		トルコ共和国スルマツ河水パルケス水力発電所建設計画調査	57,629,241	53. 9. 5	53通外1631号	54. 3. 31	57,236,951	392,310	27	170
アジア	42	アフリカ	ケニア共和国木村加工業近代計画調査	21,223,613	53. 6. 21	53通外1252号	53.10.30	20,222,559	1,001,054	16	176
アジア	43		ケニア共和国リフト湖谷地熱開発計画事前調査	17,161,491	54. 1. 23	54通外63号	54. 3. 31	15,782,032	1,419,409	45	180
アジア	44		チュニジア共和国カセブ揚水発電所建設計画調査	43,137,338	53. 6. 21	53通外1252号	53.12.31	42,653,773	1,183,665	15	184
アジア	45		チュニジア共和国カセブ揚水発電所建設計画調査(地質調査)	2,122,901	54. 2. 21	54通外178号	54. 3. 31	2,108,771	364,130	52	188

(2) 委託事業実施経費区分別実績総括表

区 分	(1) 当初計画額		(2) 変更計画額		(3) 流用額	(4) 流用後額 (2)-(3)	(5) 承認額	(6) 実績額		(7) 返納額	(8) 不用額 (4)-{(5)+(7)}	(9) 繰越額	
	件数	金額	件数	金額	金額	金額	金額	件数	金額	金額	金額	件数	金額
(1) 技術調査用派遣費	36	1,240,024,000	36	1,191,838,000	8,132,705	1,206,770,785	1,203,852,719	49	1,164,231,242	32,622,546	3,117,000	0	0
(2) プロジェクト実施確認 調査用派遣費	3	9,854,000	3	9,124,000	128,536	9,252,536	9,204,531	6	7,919,771	1,284,765	48,000	0	0
(3) 技術調査用長期派遣費	4	112,913,000	4	107,635,000	6,822,105	114,457,105	113,414,105	3	109,601,353	3,812,152	1,043,000	0	0
(4) 大規模施設等/基礎調 査用派遣費	5	609,069,000	5	583,713,000	114,236,168	568,716,832	288,260,832	3	277,118,082	12,142,760	5,666,000	2	255,110,000
(5) 大型施設等/単条(海 水淡水化)調査用派遣費	1	100,378,000	1	97,218,000	842,261	91,371,739	90,529,739	1	8,779,331	218,409	2,332,000	1	85,400,110
合 計	49	2,071,833,000	49	1,976,778,000	0	1,996,778,000	1,624,792,000	62	1,562,650,378	52,141,602	11,982,000	3	345,000,000

(5) 昭和53年度海外関係計画書のプロジェクト別実績及び実績率

I 地域調査面談調査

プロジェクト名	調査対象	現地調査費	旅費	旅費	旅費	計	実績率
1 タイ交際広延(計画)	644,000	1,237,710	0	0	71,000	904,710	28
2 タイメニ調査	10,559,000	1,254,900	32,192,440	4,390,000	344,000	48,942,550	5
3 タイ一芝調査	629,000	1,119,600	32,192,440	4,390,000	23,240	42,714,701	5
4 タイ一芝調査	629,000	1,119,600	32,192,440	4,390,000	23,240	42,714,701	5
5 タイ一芝調査	629,000	1,119,600	32,192,440	4,390,000	23,240	42,714,701	5
6 タイ一芝調査	629,000	1,119,600	32,192,440	4,390,000	23,240	42,714,701	5
7 タイ一芝調査	629,000	1,119,600	32,192,440	4,390,000	23,240	42,714,701	5
8 タイ一芝調査	629,000	1,119,600	32,192,440	4,390,000	23,240	42,714,701	5
9 タイ一芝調査	629,000	1,119,600	32,192,440	4,390,000	23,240	42,714,701	5
10 タイ一芝調査	629,000	1,119,600	32,192,440	4,390,000	23,240	42,714,701	5
11 タイ一芝調査	629,000	1,119,600	32,192,440	4,390,000	23,240	42,714,701	5
12 タイ一芝調査	629,000	1,119,600	32,192,440	4,390,000	23,240	42,714,701	5
13 タイ一芝調査	629,000	1,119,600	32,192,440	4,390,000	23,240	42,714,701	5

プロジェクト名	建設費	完成額	残高	累計	計	年次
15 インターネット ケーブル	4,969,070	3,761,250	11,517,650	1,500,000	3,500,000	31
	4,969,070	1,647,740	11,497,770	1,400,000	4,400,000	31
	4,969,070	2,113,300	19,880	4,300	1,220,000	31
16 インターネット ケーブル	4,719,265	841,770	2,876,100	0	3,500,000	31
	4,719,265	712,770	2,876,100	0	1,000,000	31
	4,719,265	770,000	0	0	2,700,000	31
17 インターネット ケーブル	9,805,780	6,654,790	24,643,425	0	3,200,000	40
	9,805,780	5,600,000	23,099,890	0	3,100,000	40
	9,805,780	1,500,000	1,500,000	0	2,900,000	40
18 インターネット ケーブル	3,450,000	727,770	6,600,000	0	1,300,000	50
	3,450,000	1,000,000	6,600,000	0	1,000,000	50
	3,450,000	621,000	0	0	1,270,000	50
20 インターネット ケーブル	4,000,000	200,000	1,200,000	0	3,000,000	41
	4,000,000	1,200,000	1,200,000	0	2,100,000	41
	4,000,000	70,000	0	0	1,000,000	41
21 インターネット ケーブル	3,450,000	1,400,000	7,259,900	0	1,100,000	50
	3,450,000	800,000	7,259,900	0	0	50
	3,450,000	621,000	0	0	1,100,000	50
22 インターネット ケーブル	0	0	3,000,000	1,600,000	1,200,000	50
	0	0	3,000,000	1,600,000	5,000,000	50
	0	0	0	0	1,100,000	50
25 インターネット ケーブル	3,450,000	340,000	2,319,300	0	2,000,000	40
	3,450,000	1,000,000	2,319,300	0	1,400,000	40
	3,450,000	300,000	0	0	1,900,000	40
26 インターネット ケーブル	1,400,000	200,000	71,925,000	9,000,000	3,400,000	7
	1,400,000	200,000	71,925,000	9,000,000	2,300,000	7
	1,400,000	21,700	0	0	1,100,000	7
29 インターネット ケーブル	4,500,000	4,500,000	3,000,000	0	7,500,000	50
	4,500,000	3,000,000	2,000,000	0	3,000,000	50
	4,500,000	1,000,000	9,400,000	0	7,100,000	50
31 インターネット ケーブル	9,600,000	110,000	5,100,000	1,600,000	2,900,000	10
	9,600,000	1,200,000	3,100,000	1,600,000	1,000,000	10
	9,600,000	1,000,000	0	0	1,200,000	10
32 インターネット ケーブル	0	0	3,000,000	3,000,000	7,500,000	50
	0	0	3,000,000	3,000,000	4,700,000	50
	0	0	0	0	2,700,000	50
34 インターネット ケーブル	3,450,000	4,320,000	3,000,000	0	1,000,000	31
	3,450,000	4,000,000	3,000,000	0	7,000,000	31
	3,450,000	3,900,000	0	0	1,100,000	31

プロジェクト名	得意先	現地現金	振込金	未払金	計	中国10
35	イラン石油化学 計 実額 差額	0	0	0	3,370,000	12
36	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	78,705	240,705
37	オマーン工業	0	0	0	71,295	966,295
38	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	3,370,000	12
39	オマーン工業	0	0	0	78,705	240,705
40	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	71,295	966,295
41	オマーン工業	0	0	0	3,370,000	12
42	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	78,705	240,705
43	オマーン工業	0	0	0	71,295	966,295
44	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	3,370,000	12
45	オマーン工業	0	0	0	78,705	240,705
46	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	71,295	966,295
47	オマーン工業	0	0	0	3,370,000	12
48	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	78,705	240,705
49	オマーン工業	0	0	0	71,295	966,295
50	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	3,370,000	12
51	オマーン工業	0	0	0	78,705	240,705
52	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	71,295	966,295
53	オマーン工業	0	0	0	3,370,000	12
54	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	78,705	240,705
55	オマーン工業	0	0	0	71,295	966,295
56	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	3,370,000	12
57	オマーン工業	0	0	0	78,705	240,705
58	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	71,295	966,295
59	オマーン工業	0	0	0	3,370,000	12
60	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	78,705	240,705
61	オマーン工業	0	0	0	71,295	966,295
62	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	3,370,000	12
63	オマーン工業	0	0	0	78,705	240,705
64	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	71,295	966,295
65	オマーン工業	0	0	0	3,370,000	12
66	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	78,705	240,705
67	オマーン工業	0	0	0	71,295	966,295
68	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	3,370,000	12
69	オマーン工業	0	0	0	78,705	240,705
70	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	71,295	966,295
71	オマーン工業	0	0	0	3,370,000	12
72	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	78,705	240,705
73	オマーン工業	0	0	0	71,295	966,295
74	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	3,370,000	12
75	オマーン工業	0	0	0	78,705	240,705
76	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	71,295	966,295
77	オマーン工業	0	0	0	3,370,000	12
78	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	78,705	240,705
79	オマーン工業	0	0	0	71,295	966,295
80	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	3,370,000	12
81	オマーン工業	0	0	0	78,705	240,705
82	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	71,295	966,295
83	オマーン工業	0	0	0	3,370,000	12
84	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	78,705	240,705
85	オマーン工業	0	0	0	71,295	966,295
86	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	3,370,000	12
87	オマーン工業	0	0	0	78,705	240,705
88	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	71,295	966,295
89	オマーン工業	0	0	0	3,370,000	12
90	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	78,705	240,705
91	オマーン工業	0	0	0	71,295	966,295
92	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	3,370,000	12
93	オマーン工業	0	0	0	78,705	240,705
94	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	71,295	966,295
95	オマーン工業	0	0	0	3,370,000	12
96	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	78,705	240,705
97	オマーン工業	0	0	0	71,295	966,295
98	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	3,370,000	12
99	オマーン工業	0	0	0	78,705	240,705
100	サウジアラビア 石油化学	0	0	0	71,295	966,295

プロジェクト名	調査対象	現地調査費	地価費	投融資費	附帯費	計	1955/10
50	タンザニア タリマンジャロ 建設費	11,715,440	2,262,162	25,094,673	1	39,072,275	46
		11,559,594	1,571,459	25,094,673	0	38,225,726	
		131,436	690,703	0	0	862,139	
52	スーダン ティンティン 建設費	2,339,677	817,405	9,904,222	0	13,061,304	35
		2,342,477	422,488	9,904,222	0	12,669,187	
		47,200	38,917	0	0	86,117	
53	スーダン ティンティン 建設費	2,041,460	544,472	7,178,889	0	9,764,821	39
		2,017,760	316,224	7,178,889	0	9,512,873	
		23,700	228,199	0	0	251,899	
54	スーダン ティンティン 建設費	12,353,641	1,052,525	54,561,536	2,715,500	69,683,202	34
		12,354,942	899,364	54,561,536	2,702,400	69,518,242	
		23,699	1,629,673	923,618	12,020	2,579,011	
56	ペルー サンタ 建設費	1,954,990	384,170	35,408,223	2,544,000	42,291,383	18
		973,932	12,000	35,408,223	2,064,920	39,558,075	
		981,058	368,088	0	575,179	1,924,325	
57	ペルー ポエ 建設費	2,247,604	2,247,173	2,424,718	0	6,919,505	54
		2,247,604	2,115,115	2,424,718	0	6,797,537	
		0	1,332,078	0	181,000	2,513,078	
58	グアテマラ ハ 建設費	4,503,209	501,300	5,422,525	1,048,372	11,475,406	24
		4,503,209	501,300	5,422,525	1,008,100	11,435,134	
		0	0	0	41,272	41,272	
59	ベネズエラ カリコ 建設費	1,854,620	829,150	0	410,000	3,093,770	25
		1,821,620	173,733	0	381,620	2,376,973	
		30,000	655,417	0	1,520,000	2,505,417	
60	ニホン アルミ 建設費	6,431,947	2,318,864	23,717,258	1	32,468,070	53
		6,073,153	2,065,928	23,229,644	0	31,368,725	
		368,794	252,936	487,614	0	1,109,354	
61	ブラジル ミ 建設費	14,710,975	2,528,162	10,575,539	1,110,000	29,924,676	23
		14,387,949	990,460	10,575,539	826,000	26,780,528	
		323,026	1,537,702	0	1,741,266	4,608,000	
62	ブラジル リン 建設費	3,479,177	752,572	3,979,920	0	8,211,669	62
		3,450,627	286,228	4,178,916	0	8,915,771	
		28,550	473,342	1,987,904	0	3,490,796	
小計		211,334,380	64,355,088	860,018,229	58,164,872	1,203,872,579	
		203,506,284	48,457,402	855,909,040	52,904,709	1,164,231,242	
		7,827,496	15,797,686	4,109,189	5,260,163	17,994,534	

II プロジェクト選定競争調達面談選定

	プロジェクト名	計画投資	現地調査費	技術費	競争調達費	附帯費	計	合計No
7	アパルン益工費P/F 計画 実績 差額	265,000	80,135	0	150,000	102,000	628,235	19
		256,777	52,861	0	62,410	70,443	442,591	
		8,223	27,274	0	87,590	31,557	175,745	
19	インフラP/F	895,323	121,505	0	150,000	133,000	1,300,828	20
		882,167	88,854	0	126,800	84,527	1,182,348	
		13,156	32,651	0	23,200	54,473	123,570	
24	システム構築	528,017	188,608	0	150,000	154,000	1,010,625	30
		520,247	118,320	0	0	2,400	641,467	
		7,770	69,288	0	152,000	148,600	377,158	
33	パキスタン 工費P/F	0	0	0	150,000	250,000	175,000	11
		0	0	0	50,000	12,000	62,000	
		0	0	0	100,000	13,000	113,000	
54	スーダン ミッドエース P/F	2,097,577	1,056,353	0	1,660,000	434,800	5,248,730	35
		2,088,277	663,322	0	1,722,500	322,302	4,856,943	
		9,300	393,031	0	37,500	112,528	396,757	
54	チリ ミッドエース	478,900	72,175	0	150,000	120,000	820,075	26
		474,900	11,620	0	164,000	83,000	733,520	
		4,000	61,555	0	14,000	44,000	75,555	
小計	計画 実績 差額	4,265,870	1,519,836	0	2,410,000	1,008,830	9,204,536	
		4,214,913	946,516	0	2,183,710	574,652	7,919,791	
		50,957	573,320	0	226,290	434,178	1,284,745	

III 技術開発費

コード	プロジェクト名	経費発生	現物資産	技術費	設備費	材料費	その他	計	年度
27	バンブーカクタリ 工場	5,774,295	807,187	20,472,862	0	0	441,600	27,695,544	45
	実績	5,829,905	267,224	20,472,862	0	0	66,250	26,636,241	
	差額	144,990	509,063	0	0	0	375,350	1,059,713	
28	バンブーラ送機	7,498,885	1,250,314	16,985,624	0	0	324,000	25,958,823	42
		7,460,325	1,242,162	16,985,624	0	0	40,000	25,734,111	
		37,950	2,037,179	0	0	0	284,000	2,359,129	
41	トリコボヤバット 工場	6,949,635	1,349,691	45,847,935	3,050,000	0	520,000	57,627,261	27
		7,004,035	993,130	45,847,935	3,022,000	0	329,551	57,237,651	
		55,400	356,561	0	28,000	0	44,449	393,410	
	計	20,441,865	5,436,219	83,307,421	3,050,000	0	1,198,600	113,444,105	
	実績	20,294,625	2,593,116	83,307,421	3,022,000	0	474,791	109,691,953	
	差額	147,240	2,933,103	0	28,000	0	723,809	3,812,152	

IV 大坂方面の地方建設事業の経費

品目	プロジェクト名	調査費	現地調査費	技術費	建設費	附帯費	計	頁数
14	インフラストラクチャー （計画）	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	2
23	水道事業 （工事）	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	22
30	下水道事業 （工事）	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	9
	小計	3,703,703	3,703,703	3,703,703	3,703,703	3,703,703	3,703,703	

V 大型坂街断力学系 (海水淡化) 調査関係費

プロジェクト	調査費	現地調査費	旅行費	設備費	旅費	当	単位
39 サンゴイアビダ (水前)	計画	2,400,585	258,154	0	6,220,000	180,000	9,058,739
	文庫	2,326,042	168,140	0	6,218,950	71,198	8,779,330
	差額	74,543	90,014	0	6,050	108,802	279,409
小計	計画	2,400,585	258,154	0	6,220,000	180,000	9,058,739
	文庫	2,326,042	168,140	0	6,218,950	71,198	8,779,330
	差額	74,543	90,014	0	6,050	108,802	279,409
合計	計画	2,443,582,747	112,658,823	1,148,623,779	7,5186,992	14,063,649	1624,792,000
	文庫	2,344,448,343	87,778,827	1,140,968,257	69,049,969	5,402,990	1,557,652,398
	差額	99,134,404	24,880,996	7,654,522	6,137,023	8,660,659	57,141,602

(4) 昭和53年度 地区の建設、地区建設期間、コンサルタント一覧表

プロジェクト名	項 目	新設 の別	地区の建設				建設期間 (昭和53年度)	地区建設 の別
			新設	増設	改修	廃止		
1	タイ冷間建設	新設	○				2/22 ~ 3/1	区 道
2	タイメニ建設	新設		○			3/25 ~ 3/24	三井東圧化学 (株)
3	タイ一宮建設	新設		○	○		3/28 ~ 3/10	(株) 日本鉄鋼連盟
4	タイクワイヤイ水カ	"		○			3/26 ~ 3/29	電機開発 (株)
5	タイン-ダ灰	"	○	○			3/20 ~ 3/30	区 道
6	フィリピンバギオ建設	新設		○	○		3/29 ~ 3/10	同和エンジニアリング (株)
7	フィリピン建設	新設	○				3/11 ~ 3/18	区 道
8	フィリピン建設	"	○				3/24 ~ 3/16	区 道 (同和エンジニアリング (株))
9	フィリピン建設	"		○			3/19 ~ 3/18	(株) 日本プラント協会
10	フィリピン建設	"		○	○		3/24 ~ 3/18	(株) 日本鉄鋼連盟
11	フィリピン建設	"	○				3/28 ~ 3/28	日本工 務 (株)
12	インドネシア建設	新設				○	—	建設開発 (株)
13	インドネシア建設	"		○	○		3/29 ~ 3/28	(株) 日本プラント協会
14	インドネシア建設	"		○			3/24 ~ 3/24	住友石炭産業 (株)
15	インドネシア建設	新設		○	○		3/24 ~ 3/24	(株) 日本エレクトロニクス研究所
16	インドネシア建設	"		○	○		3/29 ~ 3/24	日本エレクトロニクス (株)
17	インドネシア建設	"		○			3/20 ~ 3/31	日本工 務 (株)
18	インドネシア建設	"	○	○			3/15 ~ 3/25	区 道
19	インドネシア建設	新設	○		○		3/12 ~ 3/22	区 道
20	マレーシア建設	新設	○				3/25 ~ 3/14	北洋電力 (株)
21	マレーシア建設	"		○			3/27 ~ 3/28	(株) 新日本技術コンサルタント
22	マレーシア建設	新設			○		—	日本工 務 (株) 電機開発 (株)
23	マレーシア建設	新設	○	○			3/27 ~ 3/28	日本工 務 (株)
24	マレーシア建設	新設	○				3/22 ~ 3/25	区 道
25	マレーシア建設	"		○	○		3/29 ~ 3/29	小野田エンジニアリング (株)
26	マレーシア建設	新設		○	○		3/24 ~ 3/25	日本技術開発 (株)
27	マレーシア建設	新設	○	○			3/25 ~ 3/24	(株) 日本プラント協会
28	マレーシア建設	新設	○				3/22 ~ 3/24	(株) 日本プラント協会 (株) 電機開発 (株)
29	マレーシア建設	"	○				3/22 ~ 3/28	区 道 (同和エンジニアリング (株))
30	マレーシア建設	新設		○	○		3/24 ~ 3/24	日本工 務 (株)
31	マレーシア建設	"		○	○		3/24 ~ 3/24	小野田エンジニアリング (株)
32	マレーシア建設	"		○			—	区 道 (同和エンジニアリング (株))
33	マレーシア建設	"			○		—	区 道
34	マレーシア建設	新設	○				3/19 ~ 3/21	区 道

プロジェクト名	項 目	新規 設備 の別	調査の経緯				現地調査		調査実施時期
			調査 開始	調査 終了	現地 調査	現地 調査	人数	期間 (報告書提出)	
35	イラン石油化学	継続					1	—	三菱
36	サウジアラビア石油化学	"					—	—	三菱エンジニアリング(株)
37	サウジアラビア石油化学(再訪)	新規	○				3	12/4~12/20	三菱
38	オマーン工業調査	継続			○	○	2	(12/20~31)	株) 野村総合研究所
39	オマーン鉱山調査	新規			○	○	2	3/2~3/26	日産(株)
40	オマーン鉱山調査	"			○		5	3/15~3/21	大手開発(株)
41	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"			○	○	6 (1)	3/27~3/28 (4/20~3/24)	電源開発(株)
42	トルコボヤットグズルズルグ水カ	継続			○	○	1	(4/15~14)	株) 日本林業技術協会
43	トルコボヤットグズルズルグ水カ	新規	○		○		6	3/1~3/20	直営(西武技術開発(株))
44	トルコボヤットグズルズルグ水カ	継続			○	○	3	(12/3~17)	電源開発(株)
45	トルコボヤットグズルズルグ水カ	新規			○		3	3/27~3/29	電源開発(株)
46	トルコボヤットグズルズルグ水カ	新規			○	○	5 (2)	3/27~3/28 (3/10~3/24)	小野田エンジニアリング(株)
47	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"			○	○	12	3/1~3/18	(株) 日本製鋼所
48	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"			○		3	3/10~3/20	(株) 日本製鋼所
49	トルコボヤットグズルズルグ水カ	継続			○	○	3	(3/2~14)	住友金属鉱山(株)、古河鉱業(株)
50	トルコボヤットグズルズルグ水カ	新規			○	○	8	1/21~3/19	(株) EPDインターナショナル
51	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"	○				2	11/5~12/2	直 営
52	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"	○				2	11/5~12/2	小野田エンジニアリング(株)
53	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"	○				2	11/5~12/2	東電設計(株)
54	トルコボヤットグズルズルグ水カ	新規	○				1	7/3~10	直 営
55	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"			○	○	10	11/1~12/20	太平洋建設(株)、三井金属工業エンジニアリング(株) 目黒建設(株)
56	トルコボヤットグズルズルグ水カ	継続			○	○	1	(12/2~11/2)	電源開発(株)
57	トルコボヤットグズルズルグ水カ	新規			○		8	3/25~3/29	電源開発(株)
58	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"	○				8	3/23~3/28	直営(筑波大学、(株) 建設研究所)
59	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"	○				3	3/23~3/28	直 営
60	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"			○	○	2	3/13~3/21	電源開発(株)
61	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"	○				14	3/13~3/23	日本製鋼所、技術開発(株) 日産(株)
62	トルコボヤットグズルズルグ水カ	"	○				4	3/10~3/23	エンジニアリング(株)

No. 1.

No. 53-28

プロジェクト名 タイ王国冷間圧延工場建設計画事前調査

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
新規	技術調査用収支費	事前調査(第1次)	今回で完了

計画申請	昭和53年10月3日附第(技計)第8-56号
計画承認	昭和53年10月17日 53通第1773号
担当	工業調査課 氏名 内藤久敏

現地調査期間 自 昭和53年10月22日
至 昭和53年10月31日

調査業務完了日 昭和53年12月31日

総支出経費

743,313円

1. 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

1985年にはその輸入量が100万トンに達すると見込まれる鋼板の国内需要を満たすことを目的として、タイ国より産出する天然ガスを利用した直接還元法による一貫製鉄所建設のF/Sを日本政府に要請越した。しかし、その内容には不明確な点が多く、本調査を実施することは極めて困難な現状である。したがって本事前調査は、タイ政府との間でT/Rを作成し、タイ政府の方針を確認することを目的とする。

(2) 調査内容

1. Terms of Referenceの作成
2. プラントサイトの確認
3. 一貫製鉄所構想の聴取
4. リンカーパートの組織・機能の確認

(3) 調査結果

1. タイ側カウンタートパートは80% (投資委員会)である。
 2. サイト：サタヒップ及びラム・チャバンを候補地とする。
 3. 1981年よりタイ国の天然ガスと供給予定であり、本プロジェクトはこれに合わせるべき。
 4. プラントの規模は、需要予測による。
 5. 製品は鋼板を主製品とし、余剰分を既存ミルに供給する。(第一ステージ)
 6. 製鉄は、直接還元方式による。
 7. インフラは直接インフラのみとする。
 8. 製品は国内需給を目的とし、輸出は考えない。
- 以上のような基本的構想でのF/Sを実施して欲しい旨要請あり。

(4) コンサルタント名 資 名

日	月	行	着	着	在印Z地等内		調査内容
					日	月	
1	10/22	東京 → バンコック (林)	マニラ → バンコック (長沢)	バンコック	Z	Z	
2	23			"	"	"	大使館、JICA 事務所
3	24			"	"	"	BOI (長官委員会) と調査内容等討議
4	25			"	"	"	タイ、フィリピン、インド及び G.S. スチール 視察、民間サイドとの討議
5	26			"	"	"	天然ガス公社、工業省 討議
6	27			"	"	"	工業省、BOI、国家経済社会開発委員会 討議
7	28			"	"	"	リイト板補修視察
8	29			"	"	"	
9	30			"	"	"	BOI、工業省長官打合せ、大使館報告
10	31	バンコック → 東京			"	"	

(1) 收支決算総括表

区 分		計 画 額	実 績 額
I	調査費	644,008	636,698
II	現地調査費	182,710	83,255
III	技術費	0	0
IV	報告書作成費	0	0
V	附帯費	78,000	23,360
合 計		904,718	743,313

資 用	金 額 (円)
核算受入額	904,718
支出総額	743,313
収支差引額	161,405

4. 収支決算費用内訳

I 調査旅費 636,698 円

No.	氏名 (担当)	招待 (名)	旅費期間 (日数)	① 航空賃	② 交通料	③ 日 当				④ 宿泊料				⑤ 旅行雑費	合 計 (①~⑤)(円)
						区別	単価(円)	日数	計(円)	区別	単価(円)	日数	計(円)		
1	長 沢 幸 敏 (事前調査)	2	10日 10/22~10/31	マニラ→バンコック→東京 140,300円	8,758円	乙	3,800	9	34,200	乙	11,400	9	102,600	0円	285,858
2	林 明 夫 (事前調査)	6	10日 10/22~10/31	東京→バンコック 216,600円	26,950円	乙	2,700	10	27,000		8,200	9	73,800	6,490円	350,840
	計			356,900円	35,708円				61,200円				176,400円	6,490円	636,698円

Ⅱ 現地調査費

83,255円

費 目		円 貨 額 (円)	現 地 通 貨 バ ッ
外 貨 分	車 輛 等 指 上 費	17,325	1,813
	資 機 材 等 購 入 費	13,600	1,423
	会 議 費	53,468	5,597
	交 換 手 数 料 及 差 損	4,558	
計		83,255	8,833

Ⅳ 附 帯 費

23,360円

費 目	金 額 (円)
会 議 費	23,360

No. 2

No 53 - 5

プロジェクト名 タイ王国メーモー肥料工場修復計画調査

事業段階	区 分 経 費	事業内容
地 境 (2年度目) (2年度目)	技術調査田水遣費	実施調査(待20) 回内設計作業

1. 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

タイ国 CFC社メーモー工場の修復計画を作成するため、52年度に実施した現状プラントの状況把握、稼働状況等点検調査に引き続き、開放点検を実施するものである。

(2) 調査内容

1. 開放点検準備

2. 生産能力及びプロセス上の問題点調査 (開放点検)

- 現状の稼働状況
- 開放点検
- プラントの性能試験運転

(3) 調査結果 ・本工場の70%減産の原因は以下のとおり

1. 機器保守上(走朽化)の問題によるもの 30%
2. 運転技術によるもの 15%
3. プロセス上の問題によるもの 25%

○ 工場全体としては既に建設以来13年経過しており、年数相応に走朽化してはいるものの、主要な装置については、安全上問題となる様な重大な欠陥はなかった。補修をすれば完全な状態に戻せるし、今後5年間以上の継続使用も可能であると考えられる。近年生産増加のさざしは見えるものの残念ながら、その努力は工場全体の技術水準の低さ、及び技術者の不足の故に実を結んでいない

(4) コンサルタント名 三井物産化学(株)

計画申請	昭和53年6月1日国協(鑑計)第8-20号
計画承認	昭和53年6月21日 53通 第1252号
計画変更承認	昭和54年2月27日 54通 第153号
担当	工業調査課 氏内藤久敏

現地調査期間 自昭和53年6月25日
至昭和53年9月24日

調査業務完了日 昭和54年3月31日

総支払経費 47,714,701円

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿泊地	出 発 地		調 査 内 容
				日本 国内	海外	
1	8/25	東京 → バンコック	バンコック	Z	Z	
2	25		"	"	"	日本大使館、JICA事務所表敬 CFC在訪団打合せ
3	26	バンコック → メーモ	メーモ	"	"	
				"	"	
				"	"	
				"	"	
				"	"	
				"	"	
				"	"	昭技会視察
				"	"	点検準備、昭技会候
				"	"	性能試験運転、機器性能調
				"	"	査、改造・改善案詳細調査
				"	"	プラント整定
				"	"	
				"	"	
				"	"	
				"	"	
				"	"	
				"	"	
87	9/21	メーモ → バンコック	バンコック	"	"	
90	22		"	"	"	CFC本社訪問報告
91	23		"	"	"	日本大使館、JICA事務所報告
92	24	バンコック → 東京		"	"	帰 国

3. 調查業務收支決算估計表

(1) 收支決算表格式

(4) 支出

(単位：円)

區 分		計 畧 額	實 績 額
I	調 查 永 貨	10,559.008	9,929.153
II	現 抱 割 查 貨	1,256.908	1,119.663
III	皮 行 貨	32,192.440	32,192.840
IV	報 告 審 作 成 貨	1,370.060	1,390.000
V	附 帶 貨	342.000	83,245
合 計		48,742.556	47,714.701

(四) 收支決算

資 用	金 額(用)
帳算受入額	48,742.556
支出総額	47,714.701
収支差引額	1,027.855

(4) (1)の附設

(單位：吋)

区 分		計画年度(変更) 済用方各品合計(%)		実 績 額	
		事業用直接費	事業用間接費	事業用直接費	事業用間接費
I	調査費	479,935	10,977,020	0	9,927,153
II	現地調査費	131,200	1,125,308	0	1,119,663
III	技術費	0	32,192,640	0	32,192,640
IV	報告書作成費	0	4,390,000	0	4,390,000
V	附帯費	384,000	0	83,245	0
	合 計	955,135	17,787,421	83,245	17,631,456

4. 収支決算貸目内訳

1. 調査旅費

9,929,153 円

No	氏名 (担当)	月日 (5)	旅費 (円)	① 航空賃 (円)	② 支度料 (円)	③ 目 当				④ 宿泊料				⑤ 旅費雑費 (円)	合 計 (①~⑤)(円)	
						区	単価 (円)	日数	計 (円)	区	単価 (円)	日数	計 (円)			
1	神代等 (総括)	92日 4/24-4/24	225.100	(9,830-5,500)	28,300	Z	2,200	31	99,200	Z	9,800	31	303,800			
						Z	2,880	30	86,400	Z	8,820	30	264,600			
						Z	2,560	31	79,360	Z	7,840	30	235,200			
							計	92	264,960		計	91	803,600	0	1,321,960	
2	江崎友治 (プロセス)	92日 4/24-4/24	225.100	(7,000-5,380)	23,100	Z	2,200	31	99,200	Z	9,800	31	303,800			
						Z	2,880	30	86,400	Z	8,820	30	264,600			
						Z	2,560	31	79,360	Z	7,840	30	235,200			
							計	92	264,960		計	91	803,600	2,000	1,318,760	
3	中嶋正視 (保安)	92日 4/24-4/24	225.100	(7,000-5,380)	23,100	Z	2,200	31	99,200	Z	9,800	31	303,800			
						Z	2,880	30	86,400	Z	8,820	30	264,600			
						Z	2,560	31	79,360	Z	7,840	30	235,200			
							計	92	264,960		計	91	803,600	1,000	1,317,760	
4	瀬戸清光 (計測)	92日 4/24-4/24	225.100	(7,000-5,380)	23,100	Z	2,200	31	99,200	Z	9,800	31	303,800			
						Z	2,880	30	86,400	Z	8,820	30	264,600			
						Z	2,560	31	79,360	Z	7,840	30	235,200			
							計	92	264,960		計	91	803,600	1,000	1,317,760	
5	山上寛男 (検査)	92日 4/24-4/24	225.100	(7,000-5,380)	23,100	Z	2,200	31	99,200	Z	9,800	31	303,800			
						Z	2,880	30	86,400	Z	8,820	30	264,600			
						Z	2,560	31	79,360	Z	7,840	30	235,200			
							計	92	264,960		計	91	803,600	1,000	1,317,760	
6	坂本繁治 (計測)	92日 4/24-4/24	225.100	(7,000-5,380)	23,100	Z	2,200	31	99,200	Z	9,800	31	303,800			
						Z	2,880	30	86,400	Z	8,820	30	264,600			
						Z	2,560	31	79,360	Z	7,840	30	235,200			
							計	92	264,960		計	91	803,600	1,000	1,317,760	
7	坂本靖男 (添乗)	92日 4/24-4/24	233.500		65,450	Z	2,200	31	99,200	Z	9,800	31	303,800			
						Z	2,880	21	51,030	Z	7,340	20	142,800			
							計	52	150,230		計	51	446,600	92,250	885,405	
8	是井利男 (添乗)	92日 4/24-4/24	233.500		65,450	Z	2,200	31	99,200	Z	9,800	31	303,800			
						Z	2,880	21	51,030	Z	7,340	20	142,800			
							計	52	150,230		計	51	446,600	2,000	897,480	
9	神代等 (報告書説明)	10日 7/18-7/17	206.055		8,253	Z	2,200	10	22,000	Z	9,800	9	88,200			
							計	10	22,000		計	9	88,200	0	318,508	
							計				計					
計				2,023,855	282,453				1891,220 円				5,713,400 円	17,925 円	9,929,153 円	

* 日当及び宿泊料には、月一配賦長期滞在によるので繰延費を適用している。

Ⅱ 現地調査費

1,119,663 円

費 目	円 貨 額 (円)	現地通貨
		バーツ
人 員 費	126,851	12,144
車 輛 賃 借 上 費	330,603	31,650
通 信 運 搬 費	56,594	5,414
資 機 材 等 増 入 費	120,000	
現 地 報 告 書 作 成 費	36,789	3,520
交 換 手 数 料 及 差 額	646	
計	671,463	52,728
円 貨 分	資 機 材 等 増 添 費	448,200
合 計	1,119,663	

Ⅲ 技術費

32,192,640 円

(1) 直接人件費

① 現地調査

区分 541	単価(人・日)(円)	日数(日)	人	金 額 (円)
3 (5)	21,600	23日/30日 × 92	1	1,523,520
5	13,700	23日/30日 × 92	5	4,831,533
6	9,600	23日/30日 × 52	2	765,440
計		656	8	7,120,493

② 図設計作業

区分 541	単価(人・日)(円)	人・月(人・月)	金 額 (円)
特5	40,000	23日 × 0.8	236,000
25	25,000	23日 × 2	1,150,000
35	21,600	23日 × 1.2	598,160
45	13,700	23日 × 2.5	1,181,125
計		7.75	3,165,285

③ 現地報告書説明

区分 541	単価(人・日)(円)	日数(日)	人	金 額 (円)
3 (5)	21,600	23日/30日 × 10	1	165,600

(1) の 計 (① + ② + ③)

10,949,878

(2) 諸 経 費 10,949,878 円 × 110% =

12,044,865

(3) 技 術 経 費 (10,949,878 円 + 12,044,865 円) × 40% =

9,177,897

合計 (1) ~ (3)

32,192,640 円

Ⅳ 報告書作成費

4,390,000 円

費 目	金 額 (円)
基礎資料整理費	469,500
報告書原稿作成費	772,800
印刷製本費	3,400,000
合 計	4,642,300

(差額は、コンサル負担)

Ⅴ 附 帯 費

83,245 円

費 目	金 額 (円)
交 通 費	44,300
そ の 他	38,945
合 計	83,245

No. 3

No 53 - 51

プロジェクト名 タイ王国一貫鉄鋼建設計画調査

事業段階	区 分 経 費	事業内容
前 記	技術調査調査費	実施調査 国内設計作業

1. 調査目的、内容及び結果

(1) 調査目的

タイ国において現在鋼板、薄板は全量輸入に頼っており、その需要は1985年に100万トン以上が想定されている。一オタイ産の天然ガスの埋蔵が確認され、1982年からの供給を計画しており、この天然ガスを利用した直接還元法による一貫鉄鋼所の実現はタイ国にとって長年の希望である。

よって本プロジェクトの目的は、タイ産の天然ガスを利用する直接還元法による一貫鉄鋼所建設の企業化可能性調査を実施することにある。

(2) 調査内容

- | | |
|-----------|-------------|
| 1) 需要予測 | 1) 設 備 |
| 2) 製鉄所の概要 | 2) 建設計画 |
| 3) サ イ ト | 3) 役員・教育・組織 |
| 4) 生産工程 | 4) 財務分析 |
| 5) 原 料 | 4) 経済分析 |

(3) 調査結果

報告書作成中であり、概要以下の中間結果を得ている。

- ・需要予測 : Flat 1985年 1990年
120万トン 176万トン
Hot-Flat 125万トン 180万トン
- ・新製鉄所の生産量 : 粗鋼ベース I期 130万トン/年、II期 20.0万トン/年
主な生産設備としては、直接還元炉、電気炉、連続鋳造、ホットストリップ、コールドストリップを計画する。
- ・製鋼原料 : 厚板、熱延薄板、ブリキ用原板、亜鉛鉄板用原板、溶接管用原板、重量用鋼用原板
- ・サイト : ラムチャパンのほうが、サタヒップより、候補地として、良好である。
- ・エネルギーについては、タイ側に供給計画なく以下のとおり設定する
電 力 : 0.82 Baht/kwh 工業用水 : 1.5 Baht/m³
天然ガス : 170 US /10³ BTU 上水道 : 20 Baht/m³

(4) コンサルタント名 (社)日本鉄鋼連盟

計画申請	昭和54年2月5日回協(鉄計)第27号
計画承認	昭和54年2月13日 54通第138号
計画変更承認	昭和54年3月22日 54通第261号
担 当	工業調査課 氏名 内 藤 久 敏

現地調査期間 自昭和54年2月18日
至昭和54年3月10日

調査業務終了日 昭和54年3月31日

総支出経費 84,616,225 円

2. 調査日程

日次	月日	行 程	宿泊地	出発時刻	到着時刻	調 査 内 容
1	2/18	東京 → バンコック	バンコック	2	2	
2	19			"	"	AM: 日本大使館, JICA事務所 PM: DTEC, BOI 表紙
3	20			"	"	BOI, 工業省 計議
4	21			"	"	工業団地局, 天然ガス局 訪問
5	22			"	"	鉄道局訪問
6	23	バンコック → サタヒグ	パタヤ	"	"	サイト調査
7	24		"	"	"	
8	25	パタヤ → バンコック	バンコック	"	"	
9	26			"	"	
10	27			"	"	
11	28			"	"	
12	3/1			"	"	内藤団員参加(東京 → バンコック)
13	2			"	"	関係各機関訪問, 資料収集他調査
14	3			"	"	林団員帰国(バンコック → 東京)
15	4			"	"	
16	5			"	"	
17	6			"	"	
18	7			"	"	関係機関訪問, 中間レポートの作成
19	8			"	"	
20	9			"	"	AM: BOI, DTEC 最終打合せ PM: 日本大使館, JICA事務所表紙
21	10	バンコック → 東京		"	"	

3 調査業務収支決算表

(1) 収支決算表

(イ) 支 出

(単位: 円)

区 分	計 画 額	変更後額	変更後額	実 績 額
I 調査旅費	6,840,074	86,206	6,926,280	6,879,287
II 現地調査費	913,506	△ 86,206	827,300	289,600
III 技 術 費	26,352,061	11,045,837	37,397,898	37,397,898
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 附 帯 費	107,000	0	107,000	29,840
合 計	34,212,641	18,089,044	45,258,078	44,616,225

(ロ) 収支決算

資 用	金 額 (円)
概算受入額	34,212,641
計画変更承認額	45,258,078
支出総額	44,616,225
収支差引額	441,853

(ウ) (1) の内訳

(単位: 円)

区 分	事業団直営分	ジョイント事業分	事業団直営分	ジョイント事業分
I 調査旅費	681,480	6,244,800	676,190	6,223,097
II 現地調査費	49,490	778,807	31,716	257,184
III 技 術 費	0	37,397,898	0	37,397,898
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 附 帯 費	107,000	0	29,840	0
合 計	836,970	44,421,105	737,746	43,878,229

4 収支決算費目別表

1 調査旅費

4,212,222 円

NO	氏名 (担当)	人数 (名)	旅費 (円)	① 航空賃 (円)	② 交通賃 (円)	③ 日 当				④ 前 泊 料				⑤ 旅費和算 (円)	合 計 (①-⑤) (円)
						乗車	手石 (円)	宿泊	計 (円)	乗車	手石 (円)	宿泊	計 (円)		
1	羽島幸男 (総務課)	1	21日 7/1-7/10	東京→バンコク 194,507	78,160	2	3,800	21	77,800	2	11,400	20	228,000	4,000	584,767
2	戸田弘元 (マーケティング)	2	21日 7/1-7/10	東京→バンコク 194,507	70,070	2	3,800	21	77,800	2	11,400	20	228,000	1,900	574,277
3	石見晃明 (マーケティング)	2	21日 7/1-7/10	東京→バンコク 194,507	70,070	2	3,800	21	77,800	2	11,400	20	228,000	6,900	577,277
4	川添幸吉 (総務課)	1	21日 7/1-7/10	東京→バンコク 194,507	78,160	2	3,800	21	77,800	2	11,400	20	228,000	5,310	525,777
5	坂本 明 (総務課)	2	21日 7/1-7/10	東京→バンコク 194,507	70,070	2	3,800	21	77,800	2	11,400	20	228,000	2,500	574,877
6	岩本 剛 (総務課)	4	21日 7/1-7/10	東京→バンコク 194,507	11,970	2	3,200	21	67,200	2	9,800	20	196,000	6,960	124,597
7	高永貞生 (サイトイン)	2	21日 7/1-7/10	東京→バンコク 194,507	70,070	2	3,800	21	77,800	2	11,400	20	228,000	5,310	577,887
8	小田二郎 (ユーティリティ)	2	21日 7/1-7/10	東京→バンコク 194,507	70,070	2	3,800	21	77,800	2	11,400	20	228,000	6,900	574,277
9	結城 芳 (原料課)	1	21日 7/1-7/10	東京→バンコク 194,507	78,160	2	3,800	21	77,800	2	11,400	20	228,000	1,900	587,347
10	堀川 健 (マーケティング ・ 総務課)	4	21日 7/1-7/10	東京→バンコク 194,507	11,970	2	3,200	21	67,200	2	9,800	20	196,000	6,900	124,597

No	内 容 (世 当)	格付 (号)	延滞日 (日数)	① 航空賃 (円)	② 支度料 (円)	③ 日 当				④ 宿 泊 料				⑤ 旅費差額 (円)	合 計 (②~⑤) (円)
						乗 車	単 価 (円)	日数	計 (円)	地 域	単 価 (円)	日数	計 (円)		
11	山 田 省 三 (経 理、財 務)	4	21日 7/8~7/10	東京↔バンコク 194,507	61,990	2	3,200	21	67,200	2	9,800	20	196,000	6,900	526,597
12	林 明 夫 (全 員)	6	14日 7/18~7/31	東京↔バンコク 194,506	26,950 × $\frac{1}{4}$ 6,737	2	2,700	14	37,800	2	8,200	13	106,600	3,802	347,445
13	内 藤 久 敏 (業 務 調 整)	5	10日 7/1~7/10	東京↔バンコク 194,506	26,950 × $\frac{1}{4}$ 6,737	2	3,200	10	32,000	2	7,800	7	88,200	5,302	326,745
合 計				円 2,528,589	円 784,274	907,800 円				2,406,800 円				円 69,824	円 6,897,287

Ⅰ 現地調査費 289,600 円

費 目		円 貨 類 (円)	現 地 通 貨
			バ ー ツ
外 貨 介	保 人 費	0	.
	軍需等借上費	220,775	21,935
	通信運搬費	17,634	1,752
	資機材等購入費	8,153	810
	現地報告書作成費	11,122	1,105
	会議費	20,995	2,086
	文戻手数料及差損	981	0
	計	279,660	27,688
円 貨 介	手 務 用 品	4,960	
	医 薬 品	4,180	
	計	9,140	
合 計		289,600	

Ⅱ 技術費 37,392,498 円

(1) 直接人件費

④ 現地調査

区分 材料	単価(円) (円)	日数(日)	人	金額(円)
1 (3)	30 900	23日/人×21	3	1,492,470
2	27 000	23日/人×21	5	2,181,550
4	18 700	23日/人×21	3	903,210
		231	11	4,577,230

⑤ 印刷設計作業

	単価(円) (円)	人・月(人・月)	金額(円)
1号	30 900	23日×18	1,279,210
2号	27 100	23日×30	1,829,900
3号	23 700	23日×6.2	3,403,180
4号	18 700	23日×6.8	2,924,680
計		17.8	9,437,980

(1) の 計 (④+⑤)

14,059,210

(2) 諸経費 14,059,210 円 × 90% =

12,653,289

(3) 技術従費 (14,059,210 円 + 12,653,289 円) × 40% =

10,684,999

合 計 (1)~(3)

37,392,498

Ⅲ 附帯費 29,840 円

費 目	金 額 (円)
会 議 費	29,840

No. 4

No 53 - 55

プロジェクト名 タイ王国クワイマイ河上流水力発電開発調査

事業段階	区分経費	事業内容
新 規	技術調査費	実施調査 (第1次)

1 調査目的・内容及び結果

(1) 調査の目的

本計画は、タイ国発電公社 (Electric Generating Authority of Thailand) が計画している メクロン水系 クワイマイ河一貫開発計画の1つであり、最大出力 560 MW の電源開発を目的とするが、その フェージビリティ・スタディ (= F/s) を実施するものである。

EGAT は、年率約 12% で急増している電力需要に対処するため、新規地点の電源開発に取り組んでおり、また 自国資源の有効利用という観点から 水力、石炭火力の開発推進をしている。

本計画については、タイ国のナショナル プロジェクトの1つであり、政府にこの実現を企図している。

(2) 調査内容

現地調査項目は、送電線・通信線建設基礎調査、山岳部地形調査、水文調査、資料収集を行う。

(3) 調査結果

カウンターパート 長官の積極的な協力により、現地調査資料収集を実施することができた。

(4) コンサルタント名

電源開発 (株)

計画申請	昭和54年2月23日国協(協計)第2-81号
計画承認	昭和54年2月27日 54通 第202号
担 当	資源調査課 氏名 竹本 節生

現地調査期間 自昭和54年3月6日
至昭和54年3月29日

調査業務完了日 昭和54年3月31日

総支出経費 2,827,400円

2. 調査日程

日曜	月日	曜	行	程	調 査 内 容
1	3/2	火			成田 → Bangkok
2	3	水			表敬訪問打合せ 大使館、JICA、EGAT
3	8	木			AM General Meeting PM 資料検討
4	9	金			大使館 (JICA) 8/4 打合せ
5	10	土	(BKK - Srirangarnd)		
6	11	日	(Srirangarnd - Dam Strye)		
7	12	月			土質材料採取地一原石採取地一水質調査地
8	13	火			ダム地帯一水質調査地一水質調査地
9	14	水	(HAC - BKK)		午後、EGATにて調査報告 打合せ
10	15	木			EGATにて打合せ 8/4 環境問題打合せ
11	16	金			8/4の打合せ 大使館 (取口一等書記官)
12	17	土			業務調査
13	18	日			
14	19	月	竹本：バンコク → 成田		8/4 確実のため大使館で打合せ (田口 瑞穂)
15	20	火			EGAT打ち合せ (エゴロジ)
16	21	水			(")
17	22	木			(土質試験)
18	23	金			Final Meeting
19	24	土			業務調査
20	25	日			
21	26	月			EGAT 打ち合せ (M. nifes)
22	27	火			8/4 Srirang (DTEC) おいさつ DTEC EGAT
23	28	水			おいさつ 目7 (大使館、JICA)
24	29	木	BKK → 成田		

3. 調査業務収支決算概略表

(1) 収支決算概略表

(a) 支 出 (単位：円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	2,802,903	2,770,924
II 現地調査費	1,057,937	627,242
III 技術費	5,431,234	5,431,234
IV 報告書作成費	0	0
V 附 帯 費	255,000	0
合 計	9,552,074	8,829,400

(2) 収支決算

費 用	金 額 (円)
概算受入額	9,552,074
支出総額	8,829,400
収支差引額	722,674

(b) (1) の内訳

(単位：円)

区 分	計画額(現地、技術、調査、報告書作成、附帯)	実績額(現地、技術、調査、報告書作成、附帯)	計画額(現地、技術、調査、報告書作成、附帯)	実績額(現地、技術、調査、報告書作成、附帯)
I 調査旅費	2,802,903	2,419,850	377,646	2,393,278
II 現地調査費	26,506	280,931	26,713	552,484
III 技術費	0	5,431,234	0	5,431,234
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 附 帯 費	255,000	0	0	0
合 計	3,064,409	8,832,015	404,359	8,377,006

4 収支決算費目内訳

1 調査旅費

2,770,924 円

NO	氏名 (担当)	格付 (号)	滞日 (日数)	① 航空賃 (円)	② 支度料 (円)	③ 日 当				④ 宿泊料				⑤ 旅行雑費 (円)	合 計 (①~⑤)(円)	
						滞 日	単 価 (円)	滞 日	計 (円)	滞 日	単 価 (円)	滞 日	計 (円)			
1	城所宏治 (総括)	1	24日 3/6~3/27	東京-バンコク 195,052	78,160	2	3,800	24	91,200	2	11,400	23	262,200	7,105	639	717
2	三ツ井良弘 (庶務)	1	24日 3/6~3/27	東京-バンコク 195,052	78,160	2	3,800	24	91,200	2	11,400	23	262,200	7,205	639	817
3	竹野武司 (通信)	3	24日 3/6~3/27	東京-バンコク 195,052	66,030	2	3,200	24	76,800	2	9,800	23	225,400	5,605	568	887
4	尾崎行蔵 (土木計画)	5	24日 3/6~3/27	東京-バンコク 195,052	53,900	2	3,200	24	76,800	2	9,800	23	225,400	5,705	551	857
5	竹本龍生 (業務調整)	3	14日 3/6~3/11	東京-バンコク 195,283	(33,052 × 1/2) 16,526	2	3,200	14	44,800	2	9,800	13	127,400	1,910	377	646
計				975,491 円	284,500 円	380,800 円				1,102,600 円				27,530 円	2	770,924 円

Ⅱ 現地調査費 627,242 円

費 目	日 貨 額 (円)	現地通貨バー	
		コンドル	直 名
人 員	102,827	B 10,152 102,827	0
車賃等宿上費	230,279	B 22,252 230,279	0
資材等購入費	111,041	B 10,543 111,041	0
現地報告書作成費	48,101	B 4,749 48,101	0
会 議 費	55,424	0	B 4505 55,424
租 賃	37,097	B 3,480 37,097	0
交通手打料及差損	7,193	B 1,459 7,193	10,459
計	603,972	B 72,878	10,459
資料費	15,000		
事務用品	4,890		
医薬品	3,380		
計	23,270		
合 計	627,242		

(1) の計 (4)

1 847 359

(2) 諸経費 1847359 円 × 110% =

2 032 094

(3) 技術経費 (1847359 円 + 2032094 円) × 40% =

1 551 781

合 計 (1)~(3)

5 431 234 円

Ⅲ 技術費 5,431,234 円

(1) 直接人件費

④ 現地調査

区分	車台(人・日)	日数 (日)	人	金 額 (円)
1(区)	30 700	23日/24日	2	1 137 120
3	23 100	23日/24日	1	439 751
5	14 700	23日/24日	1	270 780
		76	4	1 847 359

No. 5

No 53-61

プロジェクト名 タイ王国ソーダ灰工場新設計調査

事業段階	区 分 経 費	事業内容
新 規	技術調査同次費	事前調査 国内設計作業

1. 調査目的、内容及び結果

(1) 調査目的

タイ側要請内容に不明確な点があり、かつ本格的調査の実施に先立ってタイ側意向を正確に把握すべき点（プロセスの選定、岩塩活用に対する意図等）があるため、今回予備調査を実施し、次に予定する本格的調査実施に支障なきと期するため。

(2) 調査内容

- ① 要請内容の具体的な把握
- ② 岩塩鉱床、プラントサイト、周辺環境等の実情把握
- ③ 本格的調査の調査項目（T/R）の策定とタイ側合意の取りつけ
- ④ 関連資料の収集

(3) 調査結果 基本的検討事項

1. 本プロジェクトの範囲 1) 工業省 Sily 底典局長の発言によれば次のとおり、④タイの岩塩を炭素灰でソーダ灰を製造する一岩塩及びソーダ灰を同一プロジェクトで実施する、⑤ソーダ灰と岩塩の販売は同一組織で行なう。2) ASEAN 会議でのとりきめ内容等次のとおり ④ソーダ灰については、ASEAN 各国が優先して引取る。⑤岩塩については ASEAN 各

計画申請	昭和54年3月9日国協（低計）第3-0228
計画承認	昭和54年3月10日 54通第265号
担 当	工業調査課 氏中島行男

現地調査期間 自昭和54年3月20日
至昭和54年3月30日

調査業務完了日 昭和54年3月31日

総支出経費 1324,002 円

国で引取る義務はない。2. 本プロジェクトの組織 ①工業省内に ROCK SALT-SODA ASH Feasibility Comm. Hce がプロジェクトをスタディする機関として設置されていた。②プロジェクト・カンパニーの設立については 民間側と打合せを行ない方針を出す予定であり 民間プロジェクトとして充てさせらる。3. 本プロジェクトに対するタイ政府の支援体制 ④タイ国投資委員会の TAX INCENTIVE 供与 ⑤Infrastructure, Utilities についての便宜供与

4. 本プロジェクトの実施時期 稼働開始（予定）1982年～1983年
タイ政府との合意事項

1. SNC レポートは岩塩リザーブについて充分検討していないので 評価スタディに先立って岩塩サンプルの化学分析及びロソフ・メカニクススタディを行なう必要がある。2. タイ側は上記1のスタディを日本側が実施することを前提として 対等予算にて合計3,000 フィート（7本分に相当のボーリングを行なう）3. 本格調査の内容については、「SCOPE OF WORK FOR ASEAN ROCK SALT-SODA ASH PROJECT (THAILAND)」として合意した。

(4) 直 営

2. 調査日程

日順	月日	行 程	前泊地	指配地等 日当 船名	調 査 内 容
1	9/20	東京 → バンコック	バンコック	2 乙	JICA事務所と打合せ
2	21		"	"	日本大使館、JICA事務所と打合せ 工業省工業振興局、鉱山局農林 協会の
3	22		"	"	工業省、農林省と協議
4	23	バンコック → コラート	コラート	"	岩倉鉱床 調査 (矿物) (BANKET NAKASU PHO (A))
5	24	コラート → バンコック	バンコック	"	石灰石鉱床 調査 (矿物) (KIAHO DOH)
6	25	バンコック → サレヒ	"	"	ソーダ灰プラント・サ イト予選地視察 (矿物)
7	26		"	"	アイ・アサヒガラス・タイ・セ ントラル視察
8	27		"	"	産直省、BOI、IFCT打合 せ
9	28		"	"	工業省、農林省、日本大使館 JICA事務所と打合せ
10	29		"	"	工業省、BOI、日本大使館と打合せ
11	30	バンコック → 東京	"	"	帰国

3. 調査業務収支決算概略表

(1) 収支決算概略表

(1) 支 出

(単位：円)

区 分	計 画 額	流 用 額	未 用 後 額	実 績 額
I 調査旅費	2,227,120	81,984	2,312,157	2,228,357
II 現地調査費	319,129	0	319,129	297,575
III 技術費	3,743,784	0	3,743,784	3,743,780
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 対 市 費	110,000	81,984	28,016	1,590
合 計	6,400,088	0	6,400,088	6,324,302

(2) 収支決算

貸 用	金 額 (円)
既 算 受 入 額	6,400,088
支 出 差 引 額	6,324,302
収支差引額	75,786

(1) (1) の内訳

(単位：円)

区 分	調査旅費	現地調査費	技術費	報告書作成費	対市費
I 調査旅費	2,312,157	0	2,228,357	0	0
II 現地調査費	302,503	16,626	297,575	0	0
III 技術費	0	3,743,784	0	3,743,780	0
IV 報告書作成費	0	0	0	0	0
V 対 市 費	28,016	0	1,590	0	0
合 計	2,642,676	3,710,410	2,580,522	3,743,780	0

4 収支決算費目内訳

1 調査旅費

2,228,357 円

No	氏 名 (担 当)	格付 (氏)	旅費 (日数)	① 航空費 (円)	② 支度料 (円)	③ 日 当				④ 商 油 料				⑤ 衣 食 雑 費 (円)	合 計 (①~⑤) (円)	
						車 賃 (円)	取 引	計 (円)	車 賃 (円)	日 数	計 (円)	車 賃 (円)	日 数		計 (円)	
1	長 沢 幸 敏 (田舎 (後活))	2	11日 1/20~1/30	東京→バンコク * 198,564	8,758	2	3,800	11	41,800	2	11,400	10	114,000	3,000	368	122
2	大 房 穆 (地質調査インフラ)	2	11日 1/20~1/30	東京→バンコク 198,564	35,035	2	3,800	11	41,800	2	11,400	10	114,000	3,400	392	799
3	中 川 一 郎 (称 鑑)	1	11日 1/20~1/30	東京→バンコク 198,564	39,080	2	3,800	11	41,800	2	11,400	10	114,000	3,400	398	844
4	内 山 知 久 (製造プロセス)	2	11日 1/20~1/30	東京→バンコク 198,564	35,035	2	3,800	11	41,800	2	11,400	10	114,000	1,500	710	899
5	水 野 夕 泰 (製造プロセス)	3	11日 1/20~1/30	東京→バンコク 198,564	33,015	2	3,200	11	35,200	2	9,800	10	98,000	3,800	359	579
6	堀 口 正 治 (技術協力政策)	5	11日 1/20~1/30	東京→バンコク 198,564	26,950	2	3,200	11	35,200	2	9,800	10	98,000	4,400	343	114
合 計				1,191,584 円	177,873	237,600 円				652,000 円				19,500 円	2,228,357 円	

* 往路 108,300円

帰路 90,264円 8,570円 ÷ 0.094943

198,564円

(注) 1円 = 0.094943円

Ⅱ 現地調査費

297,575 円

費 目		円 貨 額 (円)	米 ド ル	現地通貨
外貨分	車輶等船上費	249,007	1,196	24,320
	会 議 費	29,564	142	2,890
	交通手帳料及差損	5,004	15	
	計	283,575	1353	27,210
円貨分	事務用品	6,550		
	医 薬 品	9,420		
	計	15,970		
合 計		299,545		

⑥ 国内設計作業

区分	単価(人・日)(円)	人・月(人・月)	全 額 (円)
1号	30 900	23日×0.2	142,140
2号	27 100	23日×0.4	287,320
3号	23 900	23日×0.2	109,940
計		0.8	539,400

(1) の 計 (④) 1,337,065

(2) 諸 差 費 1,337,065 円 × 100% = 1,337,065

(3) 技術経費 (1,337,065 円 + 1,337,065 円) × 40% = 1,069,652

(計上は、1,069,652 円であるが、但し計算上、)

合 計 (1)~(3)	2,406,780 円
-------------	-------------

Ⅲ 技 術 費

3,743,780 円

(1) 直接人件費

④ 現地調査

区分	単価(人・日)(円)	日 数 (日)	人	全 額 (円)
1 (5)	30 900	23日/23日×10	1	238,900
2	27 100	23日/23日×10	2	415,400
3	23 900	23日/23日×10	1	183,280
計		40	4	837,580

※ 実績支払額

1) 日鉄鉱業(株) 1,992,100

2) 旭硝子(株) 930,772

3) セミラル硝子(株) 820,880

3,743,750

Y 附 節 費 2,590 円

費 目	全 額 (円)
会 議 費	4,590

No. 6

No. 53 - 1

プロジェクト名 フィリピン共和国バギオ地区鉱滓公害防止計画調査

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
経 統 (2年度) (1年度)	技術調査田敷賃	報告者説明(第1次) 図面設計作業 報告者印刷	今日で完了

1. 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

同国バギオ地区鉱山(Cu, Au)の選鉱廃滓はグム又は泥に推積されてきたが、雨季にはしばしば激しい下流の農畜地帯を汚染してきた。近年この問題が深刻化し、この解決策としてフィリピン政府はトンネルパイプライン道(TLPシステム)による海岸への移送処理計画を策定し、そのフィジビリティ・スタディを実施したものである。

(2) 調査内容

52年度の和文ドラフト作成に引き続き、今年度は報告者内容のフィリピン政府への説明を行い、報告者(和文・英文)の印刷及びフィリピン政府への報告者送付を行う。

計画申請	昭和53年5月17日 国務(核計)第5-749号
計画承認	昭和53年5月18日 53通第1113号
担 当	資源調査課 氏名 竹本 節生

現地調査期間 自 昭和53年5月28日
(報告者説明) 至 昭和53年6月10日

調査業務完了日 昭和53年8月31日

総支出経費

5,004,869円

(3) 調査結果

TLPシステムは、各鉱山からのパイプラインから鉱滓を受け入れて Lingayen 港まで流送するコモンライン及び海堤埋立部の3つの部分からなっている。設計範囲は13百万乾量トン・スラリー濃度平均39重量パーセントの鉱滓を流送対象とし、高低差610m、流送距離、陸上部26km、海堤部敷設6.9kmを自然流送することにより鉱滓処理容量20年間分、面積12km²の埋立地をカバーさせるものである。海堤部は鉱滓で埋立地を造成することとし、その設岸方法は捨石方式、鉱滓式及び鉱滓粒度調整式の4方式を提案した。本件TLPシステムによる鉱滓処理コストは現状のままの処理によるコストよりも割高となり、各鉱山の生産コストに対してかなりの影響を与える。

(4) コンサルタント名

同和エンジニアリング(株)

2. 調査日程

日次	日	行 程	宿 舎	指 導 員	調 査 内 容
1	5/28	成 田 $\xrightarrow{JL771}$ マニラ	マニラ	Z	移 動
2	29		、	、	銚子局表取、打合せ
3	30		、	、	大使館、JICA事務所表取、説明
4	31		、	、	銚子局、電力公社説明
5	6/1		、	、	2銚子へ説明
6	2	マニラ 車 \rightarrow バギオ	バギオ	、	移動、現地調査
7	3		、	、	、
8	4		、	、	資料整理
9	5	バギオ 車 \rightarrow マニラ	マニラ	、	移 動
10	6		、	、	銚子局へ説明
11	7		、	、	、
12	8		、	、	大使館説明
13	9		、	、	銚子局最終打合せ
14	10	マニラ $\xrightarrow{JL772}$ 成 田		、	移 動

3. 調査業務収支決算概算表

(1) 収支決算概算表

(1) 支 出

(単位: 円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	1,078,593	1,066,886
II 現地調査費	302,522	125,465
III 技術費	3,322,393	3,322,393
IV 報告書作成費	1,300,000	1,270,000
V 雑費	241,000	150,125
合 計	6,251,508	6,004,869

(2) 収支決算

資 料	全 額 (円)
概算貸入額	6,251,508
支出総額	6,004,869
収支差引額	246,639

(1) (1) の内訳

(単位: 円)

区 分	計 画 額 (変更費用ありの場合)		実 績 額	
	事業年度直前分	事業年度直後分	事業年度直前分	事業年度直後分
I 調査旅費	332,053	739,540	334,800	732,086
II 現地調査費	62,550	248,972	62,550	134,915
III 技術費	0	3,322,393	0	3,322,393
IV 報告書作成費	30,000	1,270,000	0	1,270,000
V 雑費	241,000	0	150,125	0
合 計	670,603	5,580,905	545,475	5,459,394

4. 収支決算貸目内訳

I 調査旅費 1,066,886 円

No.	氏名 (担当)	船名 (号)	旅費期間 (日数)	① 航空賃	② 支度料	③ 日 当				④ 宿泊料				⑤ 旅費雑費	合 計 (①~⑤) (円)
						船名	単価 (円)	日数	計 (円)	船名	単価 (円)	日数	計 (円)		
1	張見 博生 (船橋(木崎))	1	14日 5/28~6/10	東京 — マニラ 152,600 円	2,770 円	Z	3,800	14	53,200	Z	11,400	13	148,200	2,773 円	366,543
2	渡辺 重彦 (土木、船務)	1	14日 5/28~6/10	東京 — マニラ 152,600 円	2,770 円	Z	3,800	14	53,200	Z	11,400	13	148,200	1,773 円	365,543
3	竹本 節生 (業務調査)	3	14日 5/28~6/10	東京 — マニラ 152,600 円	2,253 円	Z	3,200	14	44,800	Z	2,800	13	127,400	1,747 円	334,800
計				457,800 円	27,793 円	151,200 円				423,800 円				6,293 円	1,066,886 円

Ⅱ 現地調査費

195,465 円

費 目	円貨額 (円)	現 地 通 貨 (ペソ)		
		コンサル	JICA	計
外貨分				
車輦等指上費	42,671	1,603.50	0	1,603.50
負機材等購入費	29,024	128.00	0	128.00
会 議 費	55,046	0	1,729.26	1,729.26
交換手数料及差損	7,704	(7,200 円)	(504 円)	(7,704 円)
計	141,445	1,731.50	1,729.26	3,460.76
円貨分				
資機材損料(送料)	42,020			
車 房 用 品	5,000			
計	54,020			
合 計	195,465			

Ⅲ 技術費

3,322,393 円

(1) 直接人件費

④ 国内設計作業

区分	日数(人・日)	人・月(人・月)	金 額 (円)
1号	26,800	23月×0.9	554,760
計		0.9	554,760

⑤ 現地報告者説明

区分	日数(人・日)	日 数 (日)	人	金 額 (円)
1号	26,800	239/3.8×14	2	525,306
計		14	2	525,306

(1) の計 (④ + ⑤)

1,130,066

(2) 諸経費 1,130,066 円 × 110% =

1,243,072

(3) 技術経費 (1,130,066 円 + 1,243,072 円) × 40% =

949,255

合 計 (1) ~ (3)

3,322,393 円

Ⅳ 報告者作成費

1,270,000 円

費 目	金 額 (円)
印刷製本費	1,270,000

Ⅴ 附 帯 費

150,125 円

費 目	金 額 (円)
会 議 費	102,235
送 料	42,890
合 計	150,125

No. 7

No. 53-19

プロジェクト名 フィリピン鉱工業プロジェクト選定承認調査

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
新 規	プロジェクト選定承認調査開費 連費	事前調査	今回で完了

1. 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

本調査は、各年から提供された日比両国の定期協議形式による対フィリピン技術協力調査用における鉱工業分野関係部分を抽出して、今後協力を実施する際の参考にすべく比側関係者等と協議することと目的とした。

(2) 調査内容

NEDA（国家経済開発庁）、NEA（電力庁）、MIRDC（金属工業研究開発センター）、MOL（工業省）、CSMI（中小企業庁）、NPC（電力公社）、NSDB（国家科学開発庁）等と、懸案となっているプロジェクト及び新しくフィリピン側からもち出されたプロジェクトにつき協議した。

計画申請	昭和53年6月1日国務（鉱計）第6-19号
計画承認	昭和53年6月7日 53 通第1212号
担 当	鉱工業計画課 氏名 小沢 勝彦

現地調査期間 自 昭和53年 6 月 11 日
至 昭和53年 6 月 18 日

調査業務完了日 昭和53年 9 月 30 日

総支出経費

448,503円

(3) 調査結果

R/Oにおいて78年度実施案件として次が挿入された。

(1) 開発調査（77年度からの継続案件）

(i) バギオ鉱山鉱滓公害防止システム
（78年度新規案件）

(ii) デイデュヨン川水力発電開発プロジェクト

(iii) 過磷酸肥料建設プロジェクト

(iv) ルソン西北部資源開発協力基礎調査

なお、78年度実施案件には含まれなかったが、「アゴス川水力発電開発プロジェクト」がR/Oに挿入された。

(2) 一括技術協力（Package Type）（77年度からの継続案件）

(i) 産業研究開発センター

(ii) パーティクルボード産業開発協力

(4) コンサルタント名 直 営

2. 調査日程

日	月	行 程	泊 地	船 名		調 査 内 容
				日	月	
1	4/11	東京 → マニラ	マニラ	2	2	出 発
2	12		・	・	・	日本大使館・JICA事務所と打合せ
3	13		・	・	・	NE DA訪問
4	14		・	・	・	NEA、HIRDC訪問
5	15		・	・	・	工業省、NPC訪問
6	16		・	・	・	NSDB訪問、NEDAとR/D協議調印
7	17		・	・	・	パーティクルボード、産業開発プロジェクト視察
8	18	マニラ → 東京		・	・	帰 国

3. 調査業務収支決算簡略表

(1) 収支決算簡略表

(1) 支 出 (単位：円)

区 分		計 画 額	実 績 額
I	調査旅費	265,053	256,789
II	現地調査費	80,125	58,861
III	技 術 費	0	0
IV	報告書作成費	150,000	62,410
V	租 税 賃	132,000	70,443
合 計		627,248	448,503

(2) 収支決算

費 用	金 額 (円)
経 算 収 入 額	627,248
支 出 総 額	448,503
収 支 差 引 額	178,745

4. 収支決算費目内訳

I 調査旅費 256,789 円

No.	氏名 (担当)	船名 (号)	旅費期間 (日数)	① 航空賃	② 支度料	③ 日 当				④ 宿泊料				⑤ 雑費	合 計 (①~⑤) (円)
						船名	単価 (円)	日数	計 (円)	船名	単価 (円)	日数	計 (円)		
1	大橋 英 雄 (技術協力一級)	3	8日 4/11 ~ 4/18	東京 - マニラ - 東京 152,600 円	$(33,015 \times \frac{1}{4})$ 8,253 円	Z	3,200	8	25,600	Z	2,800	7	68,600	1,736 円	256,789
計				152,600 円	8,253 円	25,600 円				68,600 円				1,736 円	256,789 円

Ⅱ 現地調査費

58,861 円

資 目	円 貨 額 (円)	現 地 流 貨
		ペ ソ
外 車 輦 等 備 上 費	20,205	660.00
資 機 具 等 財 入 費	6,122	200.00
分 会 議 費	21,077	688.50
交 換 手 続 料 及 差 損	2,137	
計	49,541	1,548.50
内 事 務 用 品	4,960	
医 薬 品	4,360	
分 計	9,320	
合 計	58,861	

Ⅲ 報告者作成費

62,410 円

Ⅳ 謝 辞 費

70,443 円

資 目	金 額 (円)
印刷製本費	62,410

資 目	金 額 (円)
会 議 費	62,330
そ の 他	8,113
合 計	70,443

No. 8

No. 53 - 21

プロジェクト名 フィリピン共和国過リン酸肥料プロジェクト事前調査

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
新 現	技術調査用旅費	事前調査	今回で完了

2. 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

本調査は、フィリピン共和国のASEAN/硫酸肥料プロジェクトに関するF/S調査の実施要請にもとづき、本調査用の旅費に先立ち、比国政府の本プロジェクトに対する基本的考え方の確認及び調査項目の明確化を図ることを目的とするものである。

(2) 調査内容

- 1) 比国政府の本プロジェクトに関する基本的考え方の確認
- 2) F/Rの確認
- 3) 銅精錬プロジェクトの推進状況及び本プロジェクトとの関係
- 4) サイト現景
- 5) 資料収集

計画申請	昭和53年 6 月 19 日国務(仮計)第 6-1063号
計画承認	昭和53年 6 月 26 日 53通 第1282号
計画変更承認	昭和53年 8 月 31 日 53通 第1526号
担 当	工業調査課 氏名 内 藤 久 敏

現地調査期間 自 昭和53年 7 月 4 日
至 昭和53年 7 月 16 日

調査業務完了日 昭和53年 8 月 31 日

総支出経費

2,563,487 円

(3) 調査結果

本プロジェクトは計画中である銅精錬所からの副生産物を利用して、リン系肥料と製造する計画であり、以下の条件でF/Sを実施する。

1. リン鉱石は輸入を前提とする。
2. サイト候補地は、オルモック市の Baxigui または Sta Cruz.
(銅精錬所の隣接地)
3. インフラは直接関係あるものに限定する。
4. 製品価格がUSA、ヨーロッパ等からの製品に対抗できるような価格でなければ、フィージブルとしない。
5. フィージブルでない場合は、ナショナルプロジェクトとして環境の処理を検討する。

以上のように本プロジェクトはあくまでも銅精錬所の副生産物の処理から発生したプロジェクトであり、したがって銅精錬所建設の動向を注視してF/Sを実施する必要がある。

(4) コンサルタント名 社 名 (日鉄エンジニアリング(株))
(日産化学工業(株))

2. 調査日程

日	月	行	着	泊地	調査内容
1	2/4	東京 → マニラ	マニラ	2	移動
2	5				AH. 大使館、JICA事務所打合せ PH. 工業省、BOI、FPA会合会議
3	6				FPAとT/R 討議、IRRI訪問
4	7				AH. 鉄山省にてリ>鉄石について PH. PASARIにて倒産鉄について
5	8	マニラ → セブ	セブ		MIRDC, Arizabal 市長訪問
6	9	セブ → オルモック	オルモック		サイト調査
7	10				地鉄発掘所視察、市長表敬
8	11	オルモック → マニラ	マニラ		移動
9	12				工業省、鉄山局、BOI と討議
10	13				既存肥料会社視察
11	14				工業省合同会議
12	15				BOI と討議、大使館報告
13	16	マニラ → 東京			移動

3. 調査業務収支決算表

(1) 収支決算総括表

(a) 支出

(単位：円)

区 分	計 画 額	流 用 額	流用後額	実 績 額
I 調査旅費	1,087,305	136,800	1,224,105	1,181,877
II 現地調査費	239,270	△ 60,000	179,270	159,944
III 技術費	1,221,666	0	1,221,666	1,221,666
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 附帯費	123,000	△ 76,800	46,200	0
合 計	2,671,241	0	2,671,241	2,563,487

(2) 収支決算

費 用	金 額 (円)
概算投入額	2,671,241
計画変更承認額	2,671,241
支出総額	2,563,487
収支差引額	107,754

(3) (1) の内訳

(単位：円)

区 分		計画額(変更承認ありの場合)(千円)		実 績	
		事業計画区分	コンクリート委託分	事業計画区分	コンクリート委託分
I	調査旅費	1,224,105	0	1,181,877	0
II	現地調査費	179,270	0	159,944	0
III	技術費	0	1,221,666	0	1,221,666
IV	報告書作成費	0	0	0	0
V	附帯費	46,200	0	0	0
	合 計	1,449,575	1,221,666	1,341,821	1,221,666

4. 収支決算項目内訳

I 調査旅費 1,181,877 円

No.	氏名 (担当)	船名 (号)	乗船期間 (日数)	① 航空賃	② 支度料	③ 日 収				④ 宿泊料				⑤ 諸経費	合 計 (①~⑤) (円)
						種別	単価 (円)	日数	計 (円)	種別	単価 (円)	日数	計 (円)		
1	長沢 幸敏 (調 査)	ス	13 日 7/4~7/16	東京 - マニラ - セブ 173,000 円	※ 17,519 円	Z	3,800	13	49,400	Z	11,400	12	136,800	3,196 円	379,715
2	山中 信夫 (肥 料)	ス	13 日 7/4~7/16	東京 - マニラ - セブ 173,000 円	35,035 円	Z	3,800	13	49,400	Z	11,400	12	136,800	5,496 円	379,731
3	岡 藤 和雄 (佐 助)	ス	13 日 7/4~7/16	東京 - マニラ - セブ 173,000 円	35,035 円	Z	3,800	13	49,400	Z	11,400	12	136,800	7,996 円	402,231
計				518,000 円	87,589 円				148,200 円				410,400 円	16,688 円	1,181,877 円

※ 本来 35,035 円支払すべきところ、過去 1 年以内に「インドネシア・アチエ尿素肥料」及び「イラン帝国石油化学製品」にそれぞれ 27,58 円 (35,035 × $\frac{1}{4}$) を支払っているため、今回はその差額を支出した。

Ⅱ 現地調査費

157,944 円

費 目	円 貨 額 (円)	現 地 通 貨	
		ペ	ソ
車 輛 等 借 上 賃	74,518	2,665	
交 通 費	6,375	228	
賃 扱 枚 等 贈 入 費	7,179	256.75	
会 議 費	63,197	2,260.12	
雑 費	747	26.75	
分 交 換 手 数 料 及 差 損	5,048		
計	157,064	5,436.62	
月 分 医 薬 品	2,880		
合 計	157,944		

Ⅱ 技術費

1,221,666 円

(1) 直接人件費

現地調査

区分	単価 (人・日) (円)	日 数 (日)	人	金 額 (円)
2 号	27,100	23/30日 × 10	2	415,533

(1) の 計

415,533

(2) 諸経費 415,533 円 × 110% =

457,086

(3) 技術費 (415,533 円 + 457,086 円) × 40% =

349,047

合 計 (1) ~ (3))

1,221,666 円

NO. 9

NO 54-30

プロジェクト名 フィリピン共和国リン酸肥料工場建設計画調査

事業段階	区 介 経 費	事業内容
新 規	技術調査調査費	現地調査 国内設計作業

1. 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

本プロジェクトは、1978年2月フィリピン政府より日本政府に対して提示された T/R 及び同年7月改定した事前調査の結果を基として行われるものである。

本調査の目的は、現在計画中である銅スメルターからの副生硫酸を原料とした、リン酸肥料工場の企業化可能性調査を実施することである。

(2) 調査内容

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 需給調査 | 6. 価格調査 |
| 2. 製造プロセス | 7. 輸送 |
| 3. サイト、インフラストラクチャー | 8. 販路評価 |
| 4. 建設費 | 9. 経費評価 |
| 5. 建設工事策 | 10. 組織運営 |

(3) 調査結果 概略(下のとお)

・製造能力	CASE A	硫酸 150,000 t/y	NPK/NP 257,800 t/y	硫酸 50,000 t/y
	CASE B	150,000 t/y	370,200 t/y	

計画申請	昭和53年9月20日国協(低計)第9-28号
計画承認	昭和53年10月9日 53通第1742号
担当	工業調査課 名内藤久敏

現地調査期間 自昭和53年10月15日
至昭和53年11月18日

調査業務終了日 昭和54年3月31日

総支出経費 65,474,216円

・建設コスト

	建設費	外貨	内貨
CASE A	112.52 百万US\$	46.41 百万US\$	66.11 百万US\$
CASE B	107.32 百万US\$	44.17 百万US\$	63.15 百万US\$

・内部収益率

CASE A	CASE B
10.67%	14.37%

・資本回収率

20.47%	37.62%
--------	--------

・資金回収期

5.90年	4.65年
-------	-------

・サイト、レイアウト可能な地区 Dupon 湾 西側半島

以上の結果より、数字の上では一応フィージブルであるとの結論を得ている。

(4) コンサルタント名 (注) 日本プラント協会

2. 調査日程

日頃	月日	行 程	宿泊地	調査日	調査月	調査内容
1	10/15	東京 → マニラ	マニラ	2	2	
2	16		"	"	"	AM: 大使館・JICA事務所表敬 PM: 工業省、肥料検査所表敬
3	17		"	"	"	工業省、肥料検査所との計議
4	18		"	"	"	"
5	19		"	"	"	内部打合せ
6	20		"	"	"	調査開始
7	21		"	"	"	マーケット班: ASEAN 各国の高
8	22	マーケット班: インドネシア	マニラ	"	"	要・製品作成
		マニラ				プラント班
		ボルネオ訪問				インフラ班 レイテ島において
		調査				現地調査及びマニラにおいて資料収集
25	23		"	"	"	
26	24		"	"	"	
27	25		"	"	"	現調、経済班・資料収集
28	26		"	"	"	
29	27		"	"	"	
30	28		"	"	"	
31	29		"	"	"	中間レポート作成
32	30		"	"	"	
33	31		"	"	"	工業省、肥料検査所報告
34	1		"	"	"	大使館・JICA 事務所報告
35	2	マニラ → 東京		"	"	帰 国

3. 調査業務収支決算表

(1) マニラ決算表

(イ) 支出

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	6,694,373	6,592,504
II 現地調査費	1,716,395	1,209,465
III 技 術 費	57,969,481	57,863,247
IV 報告書作成費	0	0
V 附 帯 費	185,000	9,000
合 計	66,565,249	65,674,216

(ロ) 収支決算

費 用	金 額 (円)
概 算 収 入 額	66,565,249
支 出 総 額	65,674,216
収 支 差 引 額	891,033

(ハ) (イ) の内訳

(単位: 円)

区 分	計 画 額 (収支決算表の場合)	実 績 額	事業団直営分	コンプライアンス費
I 調査旅費	2,052,258	1,447,115	198,808	6,390,696
II 現地調査費	136,250	1,580,195	85,680	11,23,785
III 技 術 費	0	57,969,481	0	57,863,247
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 附 帯 費	185,000	0	9,000	0
合 計	5,26,508	16,038,741	293,488	65,380,728

4. 収支決算書目内訳

1. 調査旅費

6,592,504 円

No	氏名 (担当)	招待 (名)	旅費 (日数)	① 航空賃 (円)	② 交際料 (円)	③ 日 当				④ 宿泊料				⑤ 旅行雑費 (円)	合 計 (①~⑤)(円)	
						成	単 価 (円)	日数	計 (円)	成	単 価 (円)	日数	計 (円)			
1	井上二郎 (総 括)	特	35日	東京-マニラ 168,400	108,720	Z	3,000	31	133,000	Z	131,100	31	106,100			
			1/5~1/8			Z	3,770		15,480	Z	11,790	3	35,370			
							計	35	148,780		計	34	141,470	7,609	870	779
2	山中信夫 (プラント)	2	35日	東京-マニラ 168,400	50,055	Z	3,800	31	117,800	Z	11,400	31	353,400			
			1/5~1/8			Z	3,420	4	13,680	Z	10,260	3	30,780			
							計	35	131,480		計	34	384,180	6,109	740	224
3	大坪 健 (マーケット)	2	35日	東京-マニラ 278,500	85,090	Z	3,800	35	133,000	Z	11,400	34	387,600	10,000	894	190
4	井上 喬石 (マーケットプラント)	2	35日	東京-マニラ 278,500	85,090	Z	3,800	35	133,000	Z	11,400	34	387,600	10,000	894	190
5	中尾 豊 (経 府 評 価)	2	21日	東京-マニラ 168,400	70,070	Z	3,800	21	79,800	Z	11,400	20	228,000	5,300	551	570
6	寺島 敏隆 (プラント)	2	21日	東京-マニラ 168,400	70,070	Z	3,800	21	79,800	Z	11,400	20	228,000	4,270	550	540
7	三戸 完五 (インフラ)	2	28日	東京-マニラ 168,400	70,070	Z	3,800	28	106,400	Z	11,400	27	307,800	5,770	659	440
8	佐伯 署 (インフラ)	4	28日	東京-マニラ 168,400	61,770	Z	3,200	28	89,600	Z	9,800	27	264,600	6,770	591	360
9	山口 澄 (現地調査員 及び役員調査)	4	32日	東京-マニラ 152,600	75,270	Z	3,200	31	97,200	Z	9,800	31	303,800	7,453	641	203
			1/6~1/8			Z	2,880	1	2,880	Z	9,800	31	303,800			
							計	32	102,080		計	30	303,800			
10	長沢 幸敏 (業務調整)	2	8日	東京-マニラ 76,300	8,758	Z	3,800	8	30,400	Z	11,400	7	77,800	3,550	198	808
			1/5~1/8													
計				1,796,300	681,183				1034,340 円				3,012,850 円	67,831	6,592,504 円	

注 1/5月以上同一世帯居住のため、近況平適用)

Ⅰ 現地調査費

1,209,465 円

費 用	円 貨 額 (円)	米 ド ル	現 地 貨 物		
			ペ ソ	ル ビー	バーツ
人 員 費	454,688	2,322 ⁶⁰	738		
車 輛 等 借 上 費	344,130	548 ⁸⁰	7,009	22,500	5,100
交 通 費	57,412		576	92,002	
通 信 運 送 費	3,442		132 ³⁵		
資 機 材 等 購 入 費	268,584	1,129 ²⁰	1,917 ¹⁰	15,376	
会 費 費	75,370		2,920		
租 賃 費	2,243		85 ²⁵		
交 換 手 数 料 及 差 損	△ 5,854				
計	1,200,015	4,000	13,312 ²⁰	129,876	5,100
円 貨 介	事 務 用 品	4,640			
	医 薬 品	4,910			
	計	9,550			
合 計	1,209,465				

車 輛 等 借 上 費 57,863,247 円

(1) 直接人件費

④ 現地調査

項目	単価(人・日)	日 数 (日)	人	金 額 (円)
特 別	46,000	23日/20日×35	1	1,228,000
2	27,100	23日/20日×35	3	2,181,549
2	27,100	23日/20日×21	2	872,619
2	27,100	23日/20日×28	1	581,748
4	18,700	23日/20日×28	1	401,228
4	18,700	23日/20日×32	1	488,723
計		270	9	5,730,848

⑤ 国内設計作業

項目	単価(人・日)	人・日 (人・日)	金 額 (円)
特 別	46,000	23日 × 25	2,645,000
1 号	30,900	23日 × 1.0	710,700
2 号	27,100	23日 × 12.6	2,853,380
3 号	23,900	23日 × 2.8	4,282,660
4 号	18,700	23日 × 3.9	1,677,390
5 号	14,700	23日 × 0.9	304,290
6 号	10,500	23日 × 0.9	217,350
計		29.6	17,895,970

(1) の 計 (④ + ⑤) 23,426,416

(2) 諸 経 費 23,426,416 円 × 90% = 21,083,774

(3) 技術経費 (23,426,416 円 + 21,083,774 円) × 30% = 13,353,057

合 計 (1) ~ (3) 57,863,247

V 附 帯 費 1,000 円

貨 目	金 額 (円)
交 通 費	9,000

NO. 10

NO 53 - 43

プロジェクト名 フィリピン共和国一貫鉄鋼所建設調査

事業段階	区分経費	事業内容
前 現	技術調査費	完成調査 国内設計作業

1. 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

本プロジェクトについては 既に日本政府により 2回の調査が実施されているが 今回は フィリピンとして、事業化計画を決定するための調査となる。したがって今回の最終 F/S は これまでの調査結果に基づき フィリピン側の検討結果を踏まえた上で、フィリピン政府による事業化計画決定の判断資料を提供するためのより詳細な調査をすることを目的とする。

(2) 調査内容

1. 需要予測のレビュー
2. 製鉄所規模
3. 生産工程
4. 原料
5. 設備
6. 建設計画
7. 財務分析

計画申請	昭和54年1月15日回協(発計)第145号
計画承認	昭和54年1月30日 54通第52号
計画変更承認	昭和54年3月22日 54通第261号
担当	工業調査課 氏 内藤 久敏

現地調査期間

自昭和54年 2月 4日
至昭和54年 2月 18日

調査業務完了日

昭和54年 3月 31日

総支出経費

26,746,821円

(3) 調査結果

報告書作成中であり、概要以下の中間結果を得ている。

- ・ 需要予測 1985 1990
2,456,000 3,560,000 (粗鋼ベース)
- ・ 新製鉄所の生産量
粗鋼ベース I期 150万トン/年 II期 300万トン/年 主な生産設備としては、高炉、転炉、連続鋳造、ホットストリップを計画する。
- ・ 製品構成
ブルーム スラブ、ヒレット、ホットコイル
- ・ サイト
ミンダナオ島カカヤン

(4) コンサルタント名 (社)日本鉄鋼連盟

2. 調査日程

順	日	行 程	泊 留 地	調査 内 容
1	2/4	東京 → マニラ	マニラ	2 2 移動
2	5		〃	日本大使館表敬 工務局表敬
3	6		〃	カウンターパートとの計議 グループ計議
4	7		〃	グループ計議
5	8		〃	補足資料収集及びF/Sの基本 方針決定
6	9		〃	
7	10		〃	
8	11	マニラ → イリガン	イリガン	
9	12		〃	NASCO ミネラル・オイル 耐久物工場
10	13	イリガン → カリヤン	カリヤン	サイト調査
11	14	カリヤン → マニラ	マニラ	
12	15		〃	カウンターパートとの計議 インテリムレポートの作成
13	16		〃	インテリム レポート作成 説明(カウンターパート、大使館)
14	17	マニラ → 東京	〃	長次団員を除く団員帰国
15	18	マニラ → 東京	〃	長次団員帰国

3. 調査業務収支決算概略表

(1) 収支決算概略表

(イ) 支 出

(単位：円)

区 分	計 画 額	変 更 額	変 更 後 額	実 績 額
I 調査旅費	4,824,358	0	4,824,358	4,794,850
II 現地調査費	291,339	0	291,339	260,272
III 技 術 費	52,172,058	19,225,371	71,397,429	71,447,429
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 附 帯 費	128,500	156,615	285,115	24,270
合 計	57,614,255	19,432,022	77,046,277	76,745,921

(ロ) 収支決算

貨 用	全 額 (円)
概 算 収 入 額	57,614,255
計画変更承認額	77,046,277
支 出 総 額	76,745,421
収 支 差 引 額	299,456

(ウ) (イ) の月別

(単位：円)

区 分	計画額(イ)	収支差引額(イ)	実績額(ロ)	収支差引額(ロ)
I 調査旅費	365,838	4,458,500	374,436	4,420,414
II 現地調査費	134,579	356,640	102,632	256,570
III 技 術 費	0	71,447,429	0	71,447,429
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 附 帯 費	283,151	0	24,270	0
合 計	783,708	76,262,569	522,338	75,224,423

4 収支決算科目別

1 調査旅費

4774.850 円

7772.850 円																	
No	氏名 (担当)	期 (日)	旅期 (日数)	① 航空賃 (円)	② 交通料 (円)	③ 日 当				④ 宿 泊 料				⑤ 水増し 費	合 計 (①~⑤) (円)		
						乗 車	乗 車	乗 車	乗 車	乗 車	乗 車	乗 車	乗 車				
1	有賀 敏彦 (総 務)	1	8日 7/1~7/9	東京-マニラ 132,644	39,080	Z	3	800	6	22	800	Z	11	400	5	57,000	256,824
2	斎藤 昭平 (インフラ・センター)	1	14日 7/1~7/14	東京- " 147,749	39,080	Z	3	800	14	53	200	Z	11	400	13	148,200	320,527
3	織田 昭 (原料・製鉄)	1	14日 7/1~7/14	東京- " 150,875	39,080	Z	3	800	14	53	200	Z	11	400	13	148,200	376,655
4	清水 久男 (立地工費)	1	14日 7/1~7/14	東京- " 148,579	39,080	Z	3	800	14	53	200	Z	11	400	13	148,200	376,659
5	吉原 祥彦 (設備・食糧)	2	14日 7/1~7/14	東京- " 147,749	35,035	Z	3	800	14	53	200	Z	11	400	13	148,200	389,484
6	中村 豊 (系綱・介護)	2	14日 7/1~7/14	東京- " 147,749	35,035	Z	3	800	14	53	200	Z	11	400	13	148,200	389,484
7	山口 富士夫 (冷 却)	2	14日 7/1~7/14	東京- " 147,749	35,035	Z	3	800	14	53	200	Z	11	400	13	148,200	4,216
8	辻上 隆 (需要予測)	2	14日 7/1~7/14	東京- " 147,749	35,035	Z	3	800	14	53	200	Z	11	400	13	148,200	388,400
9	橋本 真樹 (製 鋼)	3	14日 7/1~7/14	東京- " 147,749	33,015	Z	3	200	14	44	800	Z	9	800	13	127,400	4,133
10	坂口 敏明 (熱 延)	3	14日 7/1~7/14	東京- " 147,749	33,015	Z	3	200	14	44	800	Z	9	800	13	127,400	3,442

No	氏 (担 当)	格付 (号)	退職 (月数)	① 航空 賃 (円)	② 支 度 料 (円)	③ 日 当				④ 宿 泊 料				⑤ 食料雑費 (円)	合 計					
						日数	単 価 (円)	概 算 (円)	計 (円)	日数	単 価 (円)	概 算 (円)	計 (円)		(①)~(⑤) (円)					
11	西 村 秀 嗣 (政 務)	5	14日 7/1~7/14	東京-マニラ 148,579	33,015	2	3	200	14	44	800	2	9	800	13	127	400	3,441	357	235
12	田 尻 美 樹 (経 理 予 備)	4	14日 7/1~7/14	東京- " 148,579	30,995	2	3	200	14	44	800	2	9	800	13	127	400	3,441	355	215
13	長 次 幸 敏 (業 務 調 整)	2	15日 7/1~7/15	東京- " 146,900	$25035 \times \frac{1}{4}$ 8,758	2	3	800	15	57	000	2	11	400	14	159	600	2,178	374	436
合 計				1,910,379 ^円	435,258 ^円	251,400 円						1,763,800 円				54,173 ^円	4,797 850 ^円			

Ⅱ 現地調査費

460,272 円

費 目	円 貨 額 (円)	現 地 通 貨
車 輛 等 係 上 賃	348,571	12,600
交 通 費	15,935	573
資 料 材 等 購 入 費	12,809	460
現 地 報 告 書 作 成 費	12,449	450
会 費	102,602	3,669 ¹²
計	¥(493,396) 460,272	17,758 ¹²

* 現地調査費超過分はコソル負担(33,124円)

Ⅲ 技術費

71,447,429 円

(1) 直接人件費

① 現地調査

区分	単価(人・日)(円)	日数(日)	人	金 額 (円)
1(3)	30 700	20 ³ 30日 × 6	1	182 180
1	30 900	23 ⁸ 30日 × 14	3	794 780
2	27 100	23 ⁸ 30日 × 14	4	1,162 193
3	23 900	23 ⁸ 30日 × 14	3	769 580
4	18 700	23 ⁸ 30日 × 14	1	200 713
計		16	12	3,270 906

② 国内設計作業

区分	単価(人・日)(円)	人・月(人・月)	金 額 (円)
1号	30 700	23日 × 5.5	3,908 880
2号	27 100	23日 × 5.0	3,116 500
3号	23 900	23日 × 9.1	10,439 270
4号	18 700	23日 × 14.1	6,084 410
計		53.7	23,587 130

(1) の 計 (① + ②)

26 859 936

(2) 諸経費

26,859,936 円 × 90% =

24 173 942

(3) 技術経費

(26,859,936 円 + 24,173,942 円) × 40% =

20 413 551

合 計 (1) ~ (3)

71 447 429 円

V 附 帯 費

44,270 円

費 目	金 額 (円)
会 費	44,270

No. 11

No 53 - 47

プロジェクト名 フィリピン共和国アコス河水力発電開発計画

事業段階	区 分 経 費	事業内容
新 規	技術調査経費	実地調査 (オノ次)

1. 調査目的、内容及び結果

(1) 調査目的

本調査は フィリピン共和国政府の要請に基づき、アコス河水力発電開発計画のフィージビリティ調査実施のための予備的調査を行う。

(2) 調査内容

計画地区の下記現地調査と必要資料の収集を行い、結果を報告書にとりまとめる。

(1) 現地測量

(2) 調査用アクセスの建設

(3) 土木関係調査

(4) 水文調査

(5) 地質調査

(6) 電力調査

(7) 経済調査

計 画 申 請	昭和 54 年 2 月 / 日 四 陽 (欽計) 第 1-0753
計 画 承 認	昭和 54 年 2 月 / 日 54 通第 118 号
担 当	資源調査課 佐 藤 立 石 陽

現地調査期間 自昭和 54 年 2 月 8 日
至昭和 54 年 3 月 28 日

調査業務完了日 昭和 54 年 3 月 31 日

総支払経費 28,598,567円

(3) 調査結果

- (1) 航空写真図化作業が 8 日未了に終了出来るよう計画を策定した
- (2) 地質調査、必要ボーリング箇所、数量を確定し、F/S 調査の準備を指示した。
- (3) 水文関係調査、観測関係問題の改善を申し入れ F/S 調査の準備を策定した。
- (4) 本プロジェクトに關し NPC の測量機材は不足しており、トランジット、レベル及びスタッフ等の機材の増強、ジープ、モーターボートの整備、および流速計、浮游土砂測定器、自記水位計、自記雨量計等の機材の増強が緊要である。

(4) コンサルタント名 日本エヌ (株)

2 調查日程

氏 名 (担 当)	月		日		3日		4日		5日		6日		7日		8日		9日		10日		11日		12日		13日		14日		15日		16日		17日		18日		19日		20日		21日		22日		23日		24日		25日		26日		27日		28日		29日		30日		31日		32日		33日		34日		35日		36日		37日		38日		39日		40日		41日		42日		43日		44日		45日		46日		47日		48日		49日		50日		51日		52日		53日		54日		55日		56日		57日		58日		59日		60日		61日		62日		63日		64日		65日		66日		67日		68日		69日		70日		71日		72日		73日		74日		75日		76日		77日		78日		79日		80日		81日		82日		83日		84日		85日		86日		87日		88日		89日		90日		91日		92日		93日		94日		95日		96日		97日		98日		99日		100日	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																				
車町 救 (田 長)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																				
谷崎 光治 (地 質)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																				
片口 哲 (測 量)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																				
三選 銅一 (測 量)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																				
片山 陽夫 (水 文)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																				
柴木 三郎 (電 気)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																				
水原 孝男 (土 木)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																				
田井 稔三 (経 済)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																				
長加 貞之 (業務 調整)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																				

3. 調査業務収支決算概算表

(1) 収支決算概算表

(a) 支 出

(単位：円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	6,793,364	6,590,954
I 現地調査費	2,348,609	2,240,439
II 技 術 費	17,750,020	17,716,879
IV 報告書作成費	0	0
V 附 帯 費	256,500	50,447
合 計	27,147,893	26,598,569

(b) 収支決算

資 用	金 額 (円)
概算受入額	27,147,893
支出総額	26,598,569
収支差引額	549,324

(c) (1)の別訳

(単位：円)

区 分	計画額(親元利用の場合にその額)		実 績 額	
	平塚市直営分	コンサル等委託分	平塚市直営分	コンサル等委託分
I 調査旅費	250,537	6,542,827	242,733	6,348,021
I 現地調査費	57,801	2,290,708	10,482	2,230,007
II 技 術 費	0	17,750,020	0	17,716,879
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 附 帯 費	256,500	0	50,447	0
合 計	507,338	26,583,055	303,662	26,294,907

4 収支決算費目内訳

1 調査旅費

6,590,754 円

No	氏名 (担当)	旅行 (日数)	① 航空賃 (円)	② 支度料 (円)	③ 日 当				④ 宿泊料				⑤ 旅費雑費 (円)	合 計 (①~⑤)(円)	
					車 賃	日 当	計	円	車 賃	日 当	計	円			
1	岸田 誠 (範 括)	特 47日 1/8~1/31	東京-マニラ 176,365	102,720	Z *	4 300	37 159	100	Z *	13 100	36 471	600	10,298	1,110,003	
2	谷市子 光治 (地 質)	4 32日 7/25~8/6	東京-" 132,895	75,270	Z	3 200	32 102	400	Z	9 800	31 303	800	8,398	672,763	
3	野口 桂 (測 量)	6 49日 7/6~8/25	東京-" 132,895	65,450	Z	2 700	49 152	300	Z	8 200	48 373	600	9,498	733,713	
4	三 鬼 銅一 (測 量)	4 40日 4/4~4/24	東京-" 132,895	75,270	Z	3 200	49 155	800	Z	9 800	48 470	400	15,298	850,663	
5	片山 陽夫 (水 文)	5 29日 7/26~8/4	東京-" 565,955	53,900	Z	3 200	29 92	800	Z	7 800	28 274	400	2,598	1,80,293	
6	鈴木 三郎 (道 点)	1 47日 1/8~1/25	東京-" 132,895	74,110	Z *	3 800	34 129	200	Z *	11 400	33 376	200	8,398	946,803	
7	水原 嘉男 (土 木)	5 47日 1/8~1/25	東京-" 132,895	65,450	Z	3 200	49 156	800	Z	9 800	48 470	400	11,498	837,043	
8	田井 悦三 (経 済)	4 47日 1/8~1/25	東京-" 132,895	75,270 × 1/4 18,817	Z *	3 200	35 112	000	Z *	9 800	34 333	200	5,998	766,710	
9	長田 貞之 (業務調整)	5 27日 1/8~1/25	東京-" 152,600	26,450 × 1/4 6,737	Z	3 200	7 22	400	Z	9 800	6 58	800	2,198	242,733	
合 計			1,182,200 円	560,524 円	1,201,860 円				3,571,260 円				74,180 円	6,590,754 円	

Ⅱ 現地調査費

2,240,487 円

費 目	円 貨 額 (円)	現地通貨 ペ ソ
人 員 費	939,156	33,580
車輦等船上費	1,197,304	42,810 ⁴
通信運搬費	50,534	1806.87
資機材等購入費	102,278	3,657
現地報告書作成費	71,314	2,265
交際手数料及差費	632	
計	2,381,218	85,114 ²⁷
資機材等購入費	60,400	
事務用品	4,890	
医薬品	4,960	
計	70,250	
合 計	2,451,468	

※超過分はコンサル負担

Ⅱ 技術費

17,716,879 円

(1) 直接人件費

④ 現地調査

区分 経費 特(3)	単価(人・日) 円	日数 (日)	人	全 額 (円)
4	46,000	23日/30日×48	1	1,228,066
4	18,700	23日/30日×32	1	458,773
6	10,500	23日/30日×48	1	394,450
4	18,700	23日/30日×48	1	702,446
5	14,700	23日/30日×28	1	326,830
1	30,900	23日/30日×48	1	1,160,810
5	14,700	23日/30日×48	1	552,230
4	18,700	23日/30日×48	1	702,446
計		355	8	6,026,151

(1) の計 (④)

6	026	151
---	-----	-----

(2) 諸経費 $6,026,151 円 \times 110\% = 6,628,766$

6	628	766
---	-----	-----

(3) 技術経費 $(6,026,151 円 + 56 \times 8784 円) \times 40\% =$

5	061	784
---	-----	-----

※(個人別)経費の計算額を
2 月以内

合 計 (1)~(3))

17	716	879
----	-----	-----

V 附帯費

50,447 円

費 目	金 額 (円)
公 業 費	50,447

No. 12

No. 53 - 4

プロジェクト名 インドネシア共和国アキットアラム石炭火力発電所建設計画調査

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
継続	技術調査団旅費	報告書印刷	今回で完了

1. 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

インドネシア国政府は、スマトラ地区タンジェンエニム地点に賦存するアキットアラム炭鉱の豊富な石炭を利用した山元火力発電所建設を計画し、その経済的・技術的可能性の調査をわが国に要請された。

よって、これに応え、アキットアラム山元火力発電所建設のF/Sを実施するため。

(2) 調査内容

燃料部門

電力関係

火力発電所

送電関係

発電所の位置及び容量

(3) 調査結果

アキットアラム石炭火力発電所建設計画は、需要想定の結果、下記規模でアキットアラム山元に建設することが燃料面、技術面、経済面及び財政面において総合的に判断するとフィジブルである。

1案) 50MW × 2 units 1984年運転開始

2案) { 50MW × 2 units " "
50MW × 1 unit 1987年

これはまたインフラメンテーション・スケジュールからも可能と判断される。

(4) コンサルタント名

電源開発(株)

計画申請	昭和53年4月 / 日国協(銀計)第6-20号
計画承認	昭和53年6月21日 53通第1252号
担当	工業調査課 氏名 内藤久敏

調査業務完了日

昭和53年 8月31日

総支出経費

25,979,100円

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(イ) 支 出 (単位:円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	0	0
II 現地調査費	0	0
III 技術費	0	0
IV 報告書作成費	2400000	2400000
V 附 帯 費	180000	118791
合 計	2580000	2518791

(ロ) 収支決算

費 用	金 額 (円)
概算受入額	2580000
支出総額	2518791
収支差引額	60209

(ウ) (イ)の内訳

区 分	計画額(使途指定がある場合は別額)		実 績 額	
	事業団直接分	コンサルタント委託分	事業団直接分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	0	0	0	0
II 現地調査費	0	0	0	0
III 技術費	0	0	0	0
IV 報告書作成費	0	2400000	0	2400000
V 附 帯 費	180000	0	118791	0
合 計	180000	2400000	118791	2400000

IV 報告書作成費

2400000円

費 目	金 額 (円)
印刷製本費	2400000

V 附 帯 費

118791円

費 目	金 額 (円)
会 議 費	11000
送 料	108791
合 計	118791

N/O. 13

No 53 - 3

プロジェクト名 インドネシア共和国アチエ尿素肥料工場新設計画調査

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
根 続 (2年度目)	現地調査団派遣費	報告者説明(第2次) 国内設計作業 報告書印刷	今回で完了

イ 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

本プロジェクトはASEAN5大工業プロジェクトの一つであり福田元首相ASEAN訪問の際門借案件として取り上げられたものである。本件に関し、インドネシア政府はF/Sを実施しその結果フィージブルであるとして、日本政府に門借を要請したが このF/Sレポートは未だ事前調査の域にあるとして相互認識のもと詳細F/Sを実施するものである。

(2) 調査内容

52年度実施した現地調査にもとづき、国内設計作業、報告者説明、印刷を行うものである。

計画申請	昭和53年6月20日国協(鉅計)第6-20号
計画承認	昭和53年6月21日 53通 第1252号
進 当	工業調査課 氏名 内藤 久 敏

現地調査期間 自 昭和53年 6月27日
至 昭和53年 7月 8日
調査業務完了日 昭和53年12月31日

総支出経費

42,750,818円

(3) 調査結果

- 生産品目および生産予定規模
アンモニア: 1000 t/day, 尿素 1725 t/day
- 工場立地はスマトラ島アチエ州ロクスマウエLNGプラントの近郊
- 原料はアルングス田より産出する天然ガスである。生産ガスは、LNG用として、ガスパイプラインを通じLNGプラントに供給され、物一部を肥料用として使用する。
- 生産開始予定 1982年1月
- 計画の実施主体: インドネシア政府60%、その他のASEAN諸国の40%の出資比率による合弁会社を設立。
- 製品の販売はASEAN各国(インドネシアを除く)が必要に応じて引取りを行う。

各国引取後の残量については、インドネシア政府が全量引取る。

以上の基本的事項により検討した結果フィージブルと判定した。

- 総所要資金31.3百万US\$ (外貨21,730万US\$ 内貨9,270万US\$)
- 内部収益率: 税引前12.25% 税引後10.33%

(4) コンサルタント名(社) 日本プラント協会

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿泊地	出張期間		調 査 内 容
				日当	宿泊	
1	6/29	東京→ジャカルタ	ジャカルタ	△	△	移動
2	30		・	・	・	JICA大使館へ報告、インドネシア政府会議
3	7/1		・	・	・	インドネシア政府と打合せ
4	2		・	・	・	内部打合せ
5	3		・	・	・	・
6	4		・	・	・	インドネシア政府、ASEAN事務局 MIGASとの打合せ
7	5		・	・	・	インドネシア政府と打合せ
8	6		・	・	・	同上、農林省PUSRIと打合せ
9	7		・	・	・	同上、大使館へ報告
10	8	ジャカルタ→東京		・	・	移動

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(イ) 支 出 (単位:円)

区 分		計 画 額	実 績 額
I	調査旅費	1315796	845723
II	現地調査費	202323	75383
III	技術費	36965505	36901122
IV	報告書作成費	4850000	4835000
V	附帯費	308000	93580
合 計		42846624	42750818

(ロ) 収 支 決 算

費 用	金 額(円)
概算受入額	42846624
支出総額	42750818
収支差引額	895806

(ハ)(イ) の内訳

区 分		計画額(使、未用する場合に0額)		実 績 額	
		事業団直管分	コンサルタント委託分	事業団直管分	コンサルタント委託分
I	調査旅費	431158	884638	0	845723
II	現地調査費	25150	182173	0	75383
III	技術費	0	36965505	0	36901122
IV	報告書作成費	0	4850000	0	4835000
V	附帯費	308000	0	93580	0
合 計		764308	42882316	93580	42652238

4 収支決算費目内訳

I 調査旅費

845733円

No	氏名 (担当)	担当 (号)	派遣期間 (日数)	① 航 空 賃	② 支 度 料	③ 日 当				④ 宿 泊 料				⑤ 旅行雑費	合 計 (①~⑤) (円)
						地域	単価 (円)	日数	計 (円)	地域	単 価(円)	日数	計 (円)		
1	植木 茂夫 (報告書説明)	特	10日 6/29~7/8	東京 - ジャカルタ 271,800円	10,780円	乙	4,300	10	43,000	乙	13,100	9	117,900	1,000円	444,480
2	前野 昌子 (報告書説明)	3	10日 6/29~7/8	東京 - ジャカルタ 271,800円	8,253円	乙	3,200	10	32,000		9,800	9	88,200	1,000円	401,253
計				543,600円	19,033円	75,000円				206,100円				2,000	845,733

I 現地調査費

75383 円

費 目	円 貨 額 (円)	現 地 雇 賃
		ル ビ
外貨分		
車輜等借上費	34121	68640
通信運搬費	38444	77150
交換材料及差損	2818	
計	75383	145790

直接経費

36,701,222 円

(1) 直接人件費

④ 国内設計作業

区分	単価(円)	人・月(人・月)	金 額(円)
特号	40000	23日×3	2760000
2号	25000	23日×57	2272500
3号	24600	23日×57	2792760
5号	12700	23日×2	630200
計		244	14462460

⑤ 現地報告書読解

区分	単価(円)	日数(日)	人	金 額(円)
特号	40000	23日×10	1	306666
3	24600	23日×10	1	165100
計				472266

(1) の計 (④ + ⑤) 14932726

(2) 諸経費 14932726 円 × 90% = 13445753

(3) 技術経費 (14932726 円 + 13445753 円) × 5% = 8515643

合 計 (1) ~ (3) 36701222

II 報告書作成費

4835000 円

費 目	金 額(円)
基礎資料処理費	385000
報告書原稿作成費	4250000
印刷製本費	3200000
合 計	4835000

V 附帯費

93580 円

費 目	金 額(円)
会議費	33550
差料	33930
その他	26100
合 計	93580

NO. 14

NO 53 - 2

プロジェクト名 インドネシア共和国オビリン石炭開発計画調査

事業段階	区 介 経 賃	事業内容
結 算 (2年度目)	大規模開採協力基礎調査田水遣費	炭掘調査

1 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

インドネシア共和国スマトラのオンビリン炭鉱ソハビリテーションの爲に、同炭鉱内のワリンギン世区の炭量確認調査をすることを目的とする。
(53年1月より実施しているもの)

(2) 調査内容

1) 手足ボーリング箇所における炭層作業とその結果に基づく炭量調査

2) 中間ミツシヨンの派遣

中間結果の総括と今後の炭掘世置の炭計のため、本日以後に派遣する。

(3) 調査結果

i) ホーリング実績としては 次の通り

W-1 : 261.8mまでいつて取水のため 掘りなおした。
500mまで再掘削した。

W-2 : 515.5m掘削

W-4 : 347.5m

W-8 : 406.25m

W-7 : 532.8m

S-1 : 416.5m

これらの結果 炭量は、相当量(可採1000万トン)見込まれることが判明した。54年度分のS-2の掘削結果により 最終的埋蔵量が確定される。

ii) 中間ミツシヨンの派遣 : 11月17日より30日までの間派遣され新しい掘削位置が、両国の協議により 決定された。

(4) コンサルタント名 佐友石炭鉱業(株)

計画申請	昭和53年8月9日国務(鉱計)第8-16号
計画承認	昭和53年10月3日 53通第1574号
担 当	資源調査課 名竹本節生

現地調査期間 自昭和53年4月1日
至昭和54年3月31日

調査業務完了日 昭和54年3月31日

総支出経費 111,085,363円

2 調査日程

日頃	日	行 程	着 地 地	指 定 地 域		調 査 内 容
				日 時	地 域	
1	5/21	オンビリン	オンビリン	Z	Z	試験調査
1	5	1	1	5	5	1
365	5/30	オンビリン	オンビリン	Z	Z	1
	中間	調査出(河合、八木、森)				
1	5/11	成田→ジャカルタ	ジャカルタ	Z	Z	移動
2	20	ジャカルタ	・	↑	↑	表敬打合せ:大佐銘、銘山省
3	21	ジャカルタ→バタン	オンビリン			打合せ:銘山省:移動
4	22	オンビリン	・			現地調査
5	23	・	・			・
6	24	・	・			・
7	25	・	・			・
8	26	バタン→ジャカルタ	ジャカルタ			移動
9	27	ジャカルタ	・			打合せ
10	28	・	・			・
11	27	・	・	Z	Z	・
12	30	ジャカルタ→バタン		Z		移動、帰国

3 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(イ) 支 出

(単位:円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	18,272,301	16,735,263
II 現地調査費	22,622,990	28,582,921
III 技 術 費	67,582,125	64,036,809
IV 報告著作費	1,561,120	906,200
V 附 帯 費	812,000	524,200
合 計	121,850,536	111,085,393

(ロ) 収支決算

費 用	全 額 (円)
概 算 受 入 額	121,850,536
支 出 総 額	111,085,393
収支差引額	10,765,143

(ハ) (イ)の内訳

(単位:円)

区 分	計 画 額 (多 量 使 用 材 料 等 の 別 記)		実 績 額	
	事業用調査費	その他調査費	事業用調査費	その他調査費
I 調査旅費	532,215	17,740,086	385,679	16,349,584
II 現地調査費	121,200	22,502,190	62,374	28,520,547
III 技 術 費	0	67,582,125	0	64,036,809
IV 報告著作費	0	1,561,120	0	906,200
V 附 帯 費	812,000	0	524,200	0
合 計	1,344,215	120,805,321	955,253	110,130,140

4 収支決算費目別表

1 調査費

16.735.263円

No	氏名 (担当)	格付 (号)	出張 期間 (日数)	① 航空賃 (円)	② 支度料 (円)	③ 日当				④ 宿泊料				⑤ 対価費 (円)	合 (①~⑤)(円)
						枚	単価(円)	日数	計(円)	枚	単価(円)	日数	計(円)		
1	河合 求一 (税務)	1	12日 11/1~11/12	東京-羽田-札幌 231,660	9770	2	3,800	12	45,600	2	11,400	11	125,400	4,800	411,230
2	八木 庄三 (地質)	2	12日 11/1~11/12	東京-羽田-札幌 231,660	8758	2	3,800	12	45,600	2	11,400	11	125,400	4,800	411,230
3	伊藤 公彦 (地質)	2	20日 11/1~11/20	東京-		2	3,800	20	76,000	2	11,400	11	125,400	4,800	411,230
4	根岸 敏雄 (地質)	3	16日 11/1~11/16			2	3,800	16	60,800	2	11,400	11	125,400	4,800	411,230
5	永崎 武行 (試験)	4	36日 11/1~11/36			2	3,800	36	76,800	2	11,400	11	125,400	4,800	411,230
6	吉田 永雄 (試験)	5	36日 11/1~11/36			2	3,800	36	76,800	2	11,400	11	125,400	4,800	411,230
7	佐々 正司 (試験)	5	37日 11/1~11/37			2	3,800	37	78,200	2	11,400	11	125,400	4,800	411,230
8	荒木 忠 (試験)	5	10日 11/1~11/10			2	3,800	10	38,000	2	11,400	11	125,400	4,800	411,230
9	森 国男 (試験)	5	15日 11/1~11/15			2	3,800	15	57,000	2	11,400	11	125,400	4,800	411,230
10	田中 弘文 (試験)	6	36日 11/1~11/36			2	3,800	36	76,800	2	11,400	11	125,400	4,800	411,230
11	末森 吉 (業務調査)	5	12日 11/1~11/12	東京-羽田-札幌 212,526	6737	2	3,200	12	38,400	2	9,800	11	107,800	3,216	318,679
				675,846円	25,265円	4703,440円				11,517,896円				12816円	16,735,263円

※ ツカルタにおける病気療養中の日当宿泊料は支給しないこととなったため

Ⅱ 現地調査費

28,682,921円

費 目	円 貨 額 (円)	現 地 通 貨		
		直 客	コンパル	計
車 輛 奉 借 上 賃	26,637	RP85,500 26,637		26,637
通 信 運 搬 費	13,482	RP 2,000 2803	RP33,800 10,679	23,482
資 機 材 等 購 入 費	355,912	RP33,800 10,679	RP711,939 245,344	355,912
現 地 報 告 書 作 成 費	33,002	0	RP147,859 33,002	33,002
会 費 費	12,960	RP41,500 12,960	0	12,960
交 換 手 続 料 及 差 損	4,527	636	3891	4527
計	448,520	53,504	333,016	448,520
資 機 材 等 購 入 費	3,014,100			
資 機 材 損 耗	25,219,431			
事 務 用 品	5,800			
医 薬 品	3,040			
計	28,236,201			
合 計	28,682,921			

Ⅲ 技術費

64,036,809円

(1) 直接人件費

① 現地調査

日 数	単 位 (人・日)	日 数 (日)	人	金 額 (円)	日 数	単 位 (人・日)	日 数 (日)	人	金 額 (円)
1 (3)	26 800	23日 1/20日 × 12	1	248 560	5 (3)	13 700	23日 1/20日 × 97	1	2 018 823
2	25 000	23日 1/20日 × 12	1	230 000	5	13 700	23日 1/20日 × 74	1	777 348
2	25 000	23日 1/20日 × 24	1	3 852 500	5	13 700	23日 1/20日 × 163	1	1 807 010
3	21 800	23日 1/20日 × 114	1	2 715 840	6	7 600	23日 1/20日 × 355	1	2 886 400
4	17 200	23日 1/20日 × 385	1	3 833 716					
5	13 700	23日 1/20日 × 385	1	3 833 716	計		1808	10	21 781 228

(1) の 計 (①)

21 781 228

(2) 調査費

21,781,228円 × 110% =

23 957 350

(3) 技術費

(21,781,228円 + 23,957,350円) × 40% =

18 296 231

合 計 (1) ~ (3)

64 036 809円

Ⅳ 報告書作成費

906,200円

費 目	金 額 (円)
基礎資料処理費	906,200

Ⅴ 附帯費

524,200円

費 目	金 額 (円)
会 費 費	220,630
そ の 他	303,570
合 計	524,200

No. 15

No 53-31

プロジェクト名 インドネシア共和国エネルギー需給データバンク創設調査		
事業段階	区分経費	事業内容
新規	技術調査田次費	実施調査(格付) 報告書説明 回内設計作業

1. 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

本件調査は、最終的には、インドネシアにおけるエネルギー需給データバンクと需算予測手法の設計を行うものである。

今年度においては、この設計にとりかかるにはどのような手順で業務を進めなくてはならないかを定めるマニュアルを作成する。

このマニュアルは、次年度以降予定されている本件計画に係る派遣専門家、インドネシア側研修員によって活用され、所期の目的達成に資するものとなる。

(2) 調査内容

エネルギー需算予測、システム分析、エネルギー工業化計画等の分野の専門家からなる調査団を派遣し、次の項目について、データバンクとしてシステム化するための調査を行う。

① エネルギー需給データバンク確立のための設計に必要な既存エネルギー関係統計の調査、エネルギー統計のコンピュータ化の調査、エネルギーバランス表作成のための調査等。

② エネルギー需算予測手法確立のための調査

③ 工業部門におけるエネルギー消費原単位の調査

計画申請	昭和53年7月27日国協(統計)第9-50号
計画承認	昭和53年10月7日 53通 第1764号
担当	資源、調査課 名 茂 井 功

現地調査期間 自昭和53年10月15日
至昭和53年11月4日

報告書説明 自昭和54年3月4日
至昭和54年3月13日

調査業務完了日 昭和54年3月31日

総支出経費 17,494,211 円

(3) 調査結果

現地調査結果及び収集資料に基づいて次の内容からなる報告書を作成した。

① 既存エネルギー需給データに関する調査

a. エネルギー需給データの収集、保存、検索、利用の各段階における設備及び体系。 b. 既存エネルギー統計をベースとしてエネルギー需給バランス表の作成。

② エネルギー需算予測手法の検討と設計 a. 既存の各種エネルギー需算予測手法のインドネシアに対する適用可能性の検討。 b. 利用可能な需算予測手法の設計。

③ 工業部門のエネルギー原単位調査

a. 工業部門におけるエネルギー消費の現状調査。 b. エネルギー消費原単位調査の実施方法の検討とマニュアルの作成

④ 製油所最適操業モデルの調査 a. 既存製油所関連データの調査と操業における問題点の把握。 b. 最適操業モデルとエネルギー需給システムの確立に関する検討

⑤ その他エネルギー需給データバンク確立のための必要な調査検討

(4) コンサルタント名 (5) 日本エネルギー経済研究所

2 調査日程

氏 名		専門分野	担当業務	調 査 日 程																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1/2	3	4
1	富館 孝夫 (団 長)	エネルギー系 システム分析	総 括 現地報告書説明	1/15																																	
2	松井 賢一	需給予測 統計解析	需給予測 エネルギーバ ランス表	1/15 1/12																																	
3	原 嘉夫 (幹 事)	エネルギー系 システム分析	石油・ガス統 計	1/15 1/14																																	
4	高井 英造	石油需給 システム部 データバンク	石油精製 コンピュー ター	1/15 10/15																																	
5	石井 昭一	システム部 石油需給	石油精製 工業統計	1/15 1/14																																	
6	西堤 権	データバンク エネルギー 需給予測	需給予測 バランス表	12/17 10/17																																	
7	荒川 文生	電力需給	電力、石炭 統計	1/12 1/14																																	
8	浅井 功 (JICA)		業務調整	10/15 10/15																																	
				(現地報告書説明)																																	
富館 孝夫				3/1	5	6	7	8	9	10	11	12	13																			3/2					

3. 調査業務収支決算表

(1) 収支決算表

(イ) 支 出

(単位:円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	4,968,000	4,351,218
II 現地調査費	376,126	164,743
III 技 術 費	11,517,654	11,497,770
IV 報告書作成費	1,500,000	1,436,100
V 附 帯 費	358,500	44,380
合 計	18,710,280	17,494,211

(ロ) 収支決算

費 用	全 額 (円)
概算受入額	18,710,280
支出総額	17,494,211
収支差引額	1,216,069

(ハ) (イ)の内訳

(単位:円)

区 分	計画額(円)		実績額(円)	
	事業団直管分	工業部外委託分	事業団直管分	工業部外委託分
I 調査旅費	863,343	4,104,657	454,427	3,896,791
II 現地調査費	181,800	194,326	121,927	42,816
III 技 術 費	0	11,517,654	0	11,497,770
IV 報告書作成費	0	1,500,000	0	1,436,100
V 附 帯 費	358,500	0	44,380	0
合 計	1,403,643	17,806,637	600,734	16,893,477

4 収支決算目内訳

1 調査経費

405/218 円

No	氏 名 (担 当)	日付 (5)	移動 (日数)	① 旅 費 (円)	② 支 度 料 (円)	③ 日 当			④ 宿 泊 料			⑤ 成行経費 (円)	合 計 (①~⑤)(円)						
						車	面	計	車	泊	計								
1	富 田 孝 夫 (調 査 長)	2	2日 12/13~14	東京↔仙台 271,800	(70070×1/4) 17,517	2	3	800	21	79	800	2	11	400	19	216	800	9,712	575,427
2	松 井 賢 一 (石油路給システム 設計・デバッグ)	2	4日 1/15~16	東京↔仙台 271,800	35,035	2	3	800	8	30	400	2	11	400	7	79	800	3,650	420,685
3	原 嘉 夫 (エネルギー設備 システム設計)	4	2日 1/15~16	東京↔仙台 271,800	61,190	2	3	200	21	67	200	2	9	800	19	186	200	8,012	575,202
4	西 景 徹 (エネルギー設備 デバッグ)	6	11日 1/17~1/27	東京↔仙台 271,800	26,950	2	2	700	11	29	700	2	8	200	9	20	800	9,750	412,200
5	高 井 采 造 (石油路給システム 設計・デバッグ)	2	11日 1/16~1/26	東京↔仙台 271,800	35,035	2	3	800	11	41	800	2	11	400	7	102	800	2,800	459,035
6	西 井 昭 一 (システム設計・ 石油路給)	3	2日 1/15~16	東京↔仙台 271,800	66,030	2	3	200	21	67	200	2	9	800	19	186	200	0	591,230
7	荒 川 文 生 (電力設備給)	3	14日 1/25~1/28	東京↔仙台 271,800	33,015	2	3	200	14	44	800	2	9	200	12	112	800	3,500	470,715
8	富 田 孝 夫 (調 査 長 (要請))	2	11日 3/4~3/10	東京↔仙台 271,800	(35,035×1/4) 8,758	2	3	800	10	38	000	2	11	400	8	102	800	5,637	372,295
9	浅 井 功 (業務調整)	4	11日 1/15~1/25	東京↔仙台 271,800	30,915	2	3	200	11	35	200	2	9	800	9	88	200	8,232	404,427
合 計				2371,700 円	315,325 円	4041,100 円			11,531,600 円			56,493 円	4,351,218 円						

Ⅱ 現地調査費

164,743 円

費 目	円 貨 額 (円)	現地通貨 ルビア
車輜等借上 費	40,198	89,330
通信運搬 費	12,239	37,685
機械材等購入 費	18,862	41,500
会 費 費	63,517	141,150
雑 費	13,672	21,889
交換手数料及差損	2,565	
計	156,053	339,554
事務用品	4,980	
医薬品	3,710	
計	8,690	
合 計	164,743	

Ⅲ 技術費

11,492,700 円

(1) 直接人件費

① 現地調査

区分 号	単価(人・日)(円)	日数(日)	人	金額(円)
2(5)	27 100	23日/2人×2	1	331 310
2	27 100	23日/2人×8	1	132 200
4	18 700	23日/2人×21	1	301 670
6	10 500	23日/2人×11	1	88 550
2	27 100	23日/2人×11	1	228 550
3	23 900	23日/2人×21	1	334 790
3	23 900	23日/2人×18	1	258 526
計		107	7	1,462,002

② 印刷設計作業

区分 号	単価(人・日)(円)	人・日(人・日)	金額(円)
2号	27 100	23日×15	531 350
3号	23 900	23日×2	1 089 400
4号	18 700	23日×1	430 100
6号	10 500	23日×0.5	120 750
計		5.0	2,585,200

③ 現地報告書説明

区分 号	単価(人・日)(円)	日数(日)	人	金額(円)
2(5)	27 100	23日/5人×10	1	207 766
計				207 766

(1) の 計 (②+③+④)

4 654 968

(2) 差経費 4654 968 円 × 90% =

4 189 471

(3) 技術経費 (4654 968円 + 4189 471円) × 30% =

2 453 331

合 計 (1)~(3)

11 492 770 円

Ⅳ 報告書作成費

1,436,100 円

費 目	金 額 (円)
印刷製本費	1,436,100

Ⅴ 附帯費

44,380 円

費 目	金 額 (円)
交 通 費	20,000
会 費 費	24,380
合 計	44,380

No. 16

No 53-36

プロジェクト名 インドネシア共和国石油鉱業生産データベース構築調査

事業段階	区 分 経 費	事業内容
新 規	技術調査費	契約調査(第1次) 国内製作作業

1. 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

本件調査目的は、石油の探査・開発に関するデータベースシステムの作成であり、次の内容のしのである。

- ① アルタミナ(石油ガス公社)の要望は、アルタミナが保有する全ての石油に関する探査生産に係る情報の収集、整理及び提供であるが、まず、第一段階として、ユニットⅠ(アルタミナの探査・生産局の下部機関の一つで南スマトラ島を管轄)でのデータベースシステムの開発
- ② ユニットⅠレベルでのデータベースには、必要な程度迅速にこれらのデータの検索が可能となることとし、週間、月間等の報告書の作成等が可能となるようにする。

(2) 調査内容

アルタミナユニットⅠと石油探査と生産のデータベースシステムのモデル地域として採用し、ここにおける地質物理データ、地質データ、油井データ、圧力と生産データ、産油係数データ、産油施設メンテナンスデータ等の各種データについてその所在状況を調査し、データベースシステム開発のシステムデザインを行う。

計画申請	昭和53年11月7日 財計(総計)第11-255
計画承認	昭和53年11月18日 53通第223/5
担当	資源調査課 名 茂 井 功

現地調査期間 自昭和53年11月20日
至昭和53年12月24日

調査業務完了日 昭和54年2月25日

総支払経費 25,770,230円

(3) 調査結果

現地調査により、アルタミナ本部、ユニットⅡ等を対象とし、アルタミナの内部機構、現存するコンピュータシステム、ユニットⅡにおける情報の管理、ユニットⅡにおける報告書処理システム、情報処理システムと使用されているソフトウェア、資料の取り扱い方法、コードシステム、資料保管状況、アルタミナの要望等について調査し、その調査結果に基づき、国内において検討・検討し、内容を報告書の草案としてとりまとめた。

報告書の草案は、昭和54年度にインドネシア領に送附を行ったうえ、印刷交付し、その後の調査業務に引き続いていくことになる。

なお、報告書案の内容は、1. 序論、2 データベースシステムの基本構成、3. 実施計画、により構成されるものである。

(4) コンサルタント名 日本オイルエンジニアリング(株)

2 調査日程

日順	年月日	行 程	宿 泊 地	調 査 内 容
1	53.11.20	茂田-JAKARTA		会 報
5		5		5
8	53.11.27			MY WARGA DALEM 氏 LELUCY 氏
13	53.12.2	PERTAMINA 本部	JAKARTA	中絶調査名
15	53.12.4	JAKARTA-PALEMBANG	PALEMBANG	
19	53.12.8	3名 PALEMBANG	JAMBI - BAJUBANG (宿泊)	
		2名 PALEMBANG	-PRAE BUHULIH (宿泊)	
		3名 PLAJU	UNIT- II本部 (PALEMBANGに宿泊)	
20	53.12.9	2名 PRABUHULIH	PALEMBANG (宿泊)	
		3名 BAJUBANG	(宿泊)	
		3名 PLAJU	UNIT- II本部 (PALEMBANGに宿泊)	
21	53.12.10	3名 BAJUBANG	JAMBI - PALEMBANG - PRABUHULIH	
		3名 PALEMBANG	-PRA BUHULIH	
		2名 PLAJU	UNIT - II本部	
26	53.12.15	PLAJU UNIT-II本部		Mr. HAMID. 氏原 MINUTESE 氏
27	53.12.16	PALEMBANG-JAK	ARTA	
32	53.12.21	PERTAMINA 本部	JAKARTA	MY WARGA DALEM. 氏原. MINUTESE 氏
34	53.12.23		機中泊	
35	53.12.24	JAKARTA 茂田		

1日宿泊全日間乙地

3 調査業務収支決算表

(1) 収支決算表

(1) 支 出

(単位:PI)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	6,719,285	6,396,395
II 現地調査費	811,777	712,777
III 技術費	28,761,034	28,761,034
IV 報告書作成費	0	0
V 附帯費	378,000	100,024
合 計	36,668,076	35,970,230

(2) 収支決算

費 用	全 額 (PI)
統 算 受 入 額	36,668,076
支 出 総 額	35,970,230
収 支 差 引 額	697,846

(1) (1)の内訳

(単位:PI)

区 分	計 画 額 (事業田直営分)	計 画 額 (事業田委託分)	実 績 額 (事業田直営分)	実 績 額 (事業田委託分)
I 調査旅費	450,115	5,269,150	351,089	6,040,326
II 現地調査費	125,917	685,852	89,175	623,602
III 技術費	0	28,761,034	0	28,761,034
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 附帯費	378,000	0	100,024	0
合 計	952,032	35,716,036	540,288	35,424,962

4 収支決算費目内訳

1 調査費

6,326,325 円

No	氏名 (担当)	日数 (日数)	① 航空賃 (円)	② 支度料 (円)	③ 日 当				④ 宿泊料				⑤ 炊事費 (円)	合 計 (①~⑤) (円)
					乗車 回数	乗車 単価 (円)	乗車 計 (円)	宿泊 日数	宿泊 単価 (円)	宿泊 計 (円)	炊事 日数	炊事 単価 (円)		
1	笠原 大四郎 (団 長)	2	216,897	85,090	2	2,800	5,600	2	11,400	22,800	2	276,200	5,900	817,087
2	橋本 秀久 (機 長)	2	216,897	85,090	2	2,800	5,600	2	11,400	22,800	2	276,200	11,300	822,487
3	江崎 和 晃 (コンピュータ)	2	216,897	85,090	2	2,800	5,600	2	11,400	22,800	2	276,200	8,700	820,087
4	渡野 孝 明 (システム)	3	216,897	90,180	2	2,200	4,400	2	9,800	19,600	3	323,400	6,900	729,377
5	滝沢 洋 雄 (石油 電 員)	5	216,897	65,450	2	2,200	4,400	2	9,800	19,600	3	323,400	9,900	727,647
6	笠野 晴 政 (技術 技 師)	5	216,897	65,450	2	2,200	4,400	2	9,800	19,600	3	323,400	9,900	727,647
7	瑞森 敏 泰 (油 層 工 学)	5	216,897	65,450	2	2,200	4,400	2	9,800	19,600	3	323,400	10,400	728,147
8	渋谷 在 式 (物理 探 査)	6	216,897	65,450	2	2,700	5,400	2	8,200	16,400	3	323,400	10,400	657,847
9	浅井 功 (業務 調整)	4	271,800	2,718	2	2,200	4,400	2	9,800	19,600	5	48,000	5,121	358,068
合 計			2006,976 円	609,998 円	263,900 円				2,741,800 円				78,721 円	6,326,325 円

Ⅱ 現地調査費

712,777 円

費 目	円 換 算(円)	現地通貨 ルビア
外 車輦等船上費	145,624	467,050
交 通 費	137,549	53,850
通 信 運 搬 費	10,093	32,450
資料費等購入費	293,940	938,020
現地報告書作成費	49,462	159,019
会 費 費	59,770	185,790
雑 費	1,267	4,000
交換手数料及差損	5,792	0
計	703,497	1,840,179
医 薬 品	9,280	
合 計	712,777	

③ 国内設計作業

区 分	単価(人・日)(円)	人・日(人)	金 額(円)
2号	27 100	23日×9.35	2 647 025
3号	23 900	23日×1.75	961 975
5号	14 700	23日×4.5	1 521 450
6号	10 500	23日×1.5	362 250
計		12.0	5 498 700

(1) の計(④)+(⑤)

9 782 665

(2) 諸経費 9,782,665 円 × 110 % =

10 760 931

(3) 技術経費 (9,782,665 円 + 10,760,931 円) × 40 % =

8 217 438

合計(①~③)

28 761 034 円

Ⅲ 技術費

28,761,034

(1) 直接人件費

④ 現地調査

区 分	単価(人・日)(円)	日 数(日)	人	金 額(円)	区 分	単価(人・日)(円)	日 数(日)	人	金 額(円)
2(3)	27 100	23日×35	1	727 183	5(6)	14 700	23日×35	1	394 450
2	27 100	23日×35	1	727 183	6	10 500	23日×35	1	281 750
2	27 100	23日×35	1	727 183					
3	23 900	23日×35	1	641 318					
5	14 700	23日×35	1	394 450					
5	14 700	23日×35	1	394 450	計		280	8	4 287 965

V 附帯費

100,024 円

費 目	金 額(円)
会 費 費	79,524
その他	25,500
合 計	100,024

No. 17

No. 53 - 44

プロジェクト名 インドネシア共和国マウン水力発電開発
計画調査

事業段階	区 分 経 費	事業内容
新 規	技術調査田収経費	実施調査(1次)

1. 調査目的 内容及び結果

(1) 調査目的

- ①本件プロジェクトは、1974年9月Sandy Mountains Engineering Corporation(オーストラリア)によるSerayu River Basin Study F/S Report の Power Development Studyにおいてrecommendされたものである。P LK(電力公社)によればMaung projectを1988/89年に完成させ中部ジャワの将来のピーク需要に対応したいとしている。
- ②Meramu 河の砂防により、本流のMrica Reservoir の淤砂を軽減し、同貯水池の寿命延長を防止する。
- ③湯水期には、Maung Reservoir より放流することにより、下流のMrica Reservoir へ水と熱供給し、下流域のかんがい用水供給に貢献する。

(2) 調査内容

- 現地調査
 - ①地形測量
 - a. 既存資料収集、b. 委託仕様書作成後助、c. 基本測量指導、d. 航空写真測量の解釈指導。
 - ②調査用アクセスの建設
 - a. 委託仕様書作成後助、b. アクセス建設指導
 - ③地質調査
 - a. 既存資料収集、b. 地表踏査、c. ボーリング調査、i. 委託仕様書作成後助、j. ボーリング作業指導、d. 試験坑掘削、e. 委託仕様書作成後助。
 - ④材料調査
 - a. 既存資料収集、b. 材料採取箇所の調査
 - ⑤水文調査
 - a. 既存資料収集、b. 浮遊砂採取及び試験指導
 - ⑥土木関係調査
 - a. 既存資料の収集、b. レイアウト決定のための地表踏査。

○現地調査状況の報告

上記の現地調査の結果及び進捗状況を作業報告書としてとりまとめ二箇月毎に印刷協力事業団に報告する。

計画申請	昭和54年1月10日国務(経済) 第1-9号
計画承認	昭和54年1月17日 54経 第50号
担 当	資源調査課 深 名 茂 井 功

現地調査期間 自昭和54年1月20日
至昭和54年3月31日

調査業務完了日 昭和54年3月31日

総支払経費 36,901,722 円

(3) 調査結果

- ①測量に関し、既存資料の収集、地形図及び航空写真による地形の解説、現地踏査による放流三角点、ベンチマーク群の推定、プロジェクト地域内に新設される三角点、基準点の図上換算、測量基準仕様書の作成等を行った。
- ②地質調査に関し、集水区域の地質調査、原石山の踏査、ボーリングの実施等を行った。
- ③水文調査に関し、放流水文観測所の検討、確認、既存水文資料の収集及び整理、解析、和訳する流量及び泥砂観測所の準備打ち合わせ等を行った。
- ④土木調査に関し、既存資料の検討、予備設計書作成、経済環境調査指針作成、業者詳細計画作成指針の作成、主要構造物の位置及び水理計算、プロジェクト地域内アクセス道及び仮橋建設等を行った。
- ⑤その他地質等の報告等を行った。

(4) コンサルタント名

日本工業(株)

2 調査日程

氏 名	担 当	等級	54年			滞 在 地	
			1月	2月	3月	滞 在 地	滞 在 地
中村 泰夫	総 括	特	20	5	31	12	33
澄川 啓介	土 木	2	20	31	31	10	61
森谷 虎彦	地 産	1	20	31	31	12	59
小玉 尊志	ボ-リング	4			15 31	2	15
松橋 勝郎		3			15 31	2	15
渡辺 房雄	測 量	4	1	31	31	2	57
石塚 一 啓		6		15 31	31	1	44
小谷 淳宣	水 文	4	1	31	31	12	47
片山 俊夫	土 木	6	20	31	31	10	61
木 床 満	業務調査	5	20	21	31	9	-

3 調査業務収支決算簡易表

(1) 収支決算簡易表

収 支 表

(単位:円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	8,805,787	8,274,048
II 現地調査費	5,654,799	5,496,350
III 技術費	24,643,425	23,099,884
IV 報告書作成費	0	0
V 附 帯 費	322,500	31,440
合 計	39,426,511	36,901,722

(2) 収支決算

費 用	合 計(円)
経費受入額	39,426,511
支出総額	36,901,722
収支差引額	2,524,789

(3) (1)の内訳

(単位:円)

区 分	計画額(収支差引額)		実 績 額	
	事業団自費分	上級機関委託分	事業団自費分	上級機関委託分
I 調査旅費	363,637	8,442,150	327,342	7,946,706
II 現地調査費	130,512	5,524,287	69,093	5,436,257
III 技術費	0	24,643,425	0	23,099,884
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 附 帯 費	322,500	0	31,440	0
合 計	816,649	38,609,862	418,875	36,482,847

収支決算費目内訳

1 調査旅費

8,274,048 円

No	氏名 (担当)	船代 (円)	乗船期間 (日数)	① 航空賃 (円)	② 支度料 (円)	③ 日当 減算	④ 宿泊料			⑤ 旅行雑費 (円)	合 計 (①~⑤)(円)
							単価(円)	日数	計(円)		
1	中村 条夫 (団 長)		45日	東京→シヤカルタ 240,716	(108720×1/4) 26,180	Z	4,300 3,870 計	43 2 45	184,900 7,740 192,640	Z	
2	澄川 啓介 (土 木)		71日	東京→シヤカルタ 135,900	55,090	Z	3,800 3,420 計	41 30 71	155,800 102,600 258,400	Z	
3	森谷 虎彦 (地 産)		71日	東京→シヤカルタ 135,900	94,910	Z	3,800 3,420 計	43 28 71	163,400 95,760 259,160	Z	
4	小玉 尊志 (ボ-リン?		17日	東京→シヤカルタ 135,900	61,990	Z	3,200 計	17 17	54,400 54,400	Z	
5	牧 儀 勝 郎 ()		17日	東京→ 135,900	61,990	Z	3,200 計	17 17	54,400 54,400	Z	
6	浅 田 房 雄 (測 量)		59日	東京→シヤカルタ 135,900	75,270	Z	3,200 2,880 計	33 26 59	105,600 74,880 180,480	Z	
7	石 塚 一 啓 (測 量)		45日	東京→シヤカルタ 135,900	65,450	Z	2,700 2,430 計	32 13 45	86,400 31,590 117,990	Z	
8	小 谷 淳 宣 (水 文)		59日	東京→シヤカルタ 135,900	75,270	Z	3,200 2,880 計	43 16 59	137,600 46,080 183,680	Z	
9	中 山 俊 夫 (土 木)		71日	東京→シヤカルタ 135,900	65,450	Z	2,700 2,430 計	41 30 71	110,700 72,900 183,600	Z	
10	木 森 満 (業務調整)		9日	東京→シヤカルタ 219,805	(28950×1/4) 6,737	Z	3,200 計	9 9	28,800	Z	
合 計				1,542,721 円	618,337 円		1,513,550 円				
							4,558,440 円			35,000 円	8,274,048 円

Ⅱ 現地調査費 5,496,350円

費目	円貨額(円)	現地通貨
		ルピア
人 員 費	2,002,258	6,221,500
車 輛 等 借 上 賃	2,773,084	8,612,120
交 通 賃	130,806	405,750
資 機 材 等 増 入 費	230,481	715,415
現地報告書作成費	61,178	190,000
会 議 費	29,342	89,650
給 食 費	9,660	30,000
交換手数料取扱費	591	
計	5,238,400	16,284,435
資料送料	249,750	
事務用品	4,880	
医薬品	3,320	
計	257,950	
合 計	5,496,350	

(1) の 計 (④)

7,857,105

(2) 諸経費 7,857,105円 × 110% =

8,642,815

(3) 技術経費 (7,857,105円 + 8,642,815円) × 40% =

6,599,968

合計(1)~(3) *

23,099,884

注 * 諸経費は円貨で行ったため、
23,099,884円となる。

Ⅲ 附帯費

31,440円

費目	金額(円)
会議費	31,440

Ⅳ 技術費 23,099,884円

(1) 直接人件費

① 現地調査

区分	単価(人・日)(円)	日数(日)	人	金額(円)	区分	単価(人・日)(円)	日数(日)	人	金額(円)
15)	46,000	23/200 × 45	1	1,557,000	4)	18,700	23/200 × 59	1	845,863
2	27,100	23/300 × 71	1	1,475,143	6	10,500	23/100 × 45	1	362,250
1	30,900	23/200 × 71	1	1,681,990	4	18,700	23/200 × 39	1	845,863
4	18,700	23/300 × 17	1	243,723	6	10,500	23/300 × 71	1	571,550
4	18,700	23/100 × 17	1	243,723	計		455	9	7,857,105